

PC400 Ver4.7

取扱説明書 Rev.1.02



クリマテック株式会社

作成：2021年04月
Rev1.02：2021年08月

目次

データロガーとパソコンの接続手順.....	2
データ回収.....	3
時刻合わせ.....	4
リアルタイムモニタリング.....	4
計測プログラムのインストール方法.....	5
プログラムをHDに移す.....	5
データロガーへのインストール.....	5
PC400 のインストール.....	7
PC400 のダウンロード.....	7
PC400 のインストール.....	10
初期設定.....	14
PC400 設定のバックアップと復旧.....	22
バックアップ/復旧方法.....	22
CF カードの交換について(CFM100,NL115 共通).....	23
CF カードの挿入.....	23
CF カードの取り外し.....	24
MicroSD カードの交換について.....	25
MicroSD カードの挿入.....	25
MicroSD カードの取り外し.....	26
CF・MicroSD カードからのデータの取り出し.....	27
変換データの分割出力.....	28
変換データのファイル名の変更.....	30
CF・MicroSD カードからデータ変換出来ない場合の手順.....	31
CF・MicroSD カードの再利用.....	33
お使いの PC の COM ポート確認方法.....	35

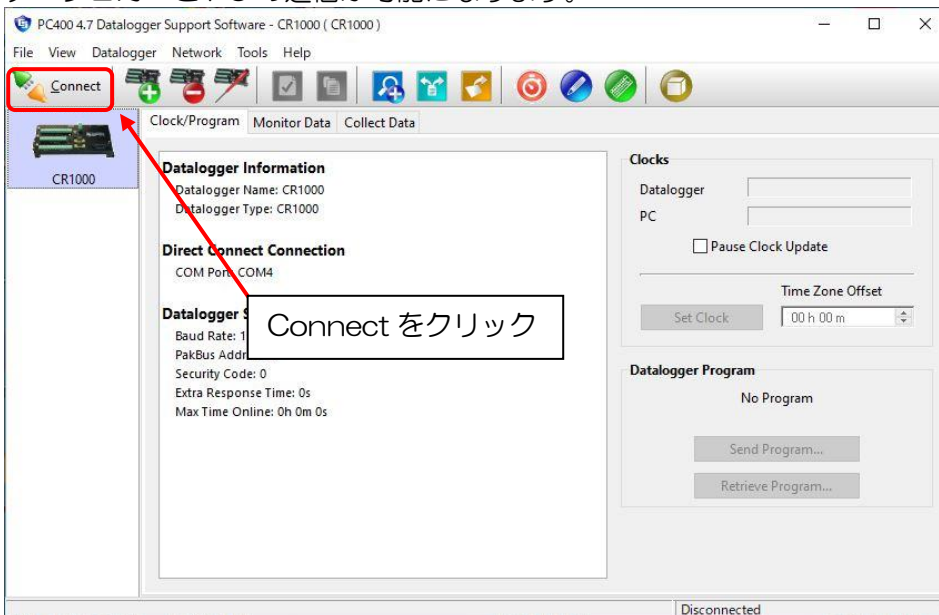
データロガーとパソコンの接続手順

データロガーとパソコンを RS232C ケーブルで接続し、PC400 を起動します。
CSI/O に接続する場合は SC929 又は SC32B を使用します。
CR300/310, CR6, CR1000X など USB に接続する場合は、USB ケーブルを使用します。

以下のショートカットをダブルクリックすると、PC400 が起動します。
もしくは、Campbell Scientific→PC400 を選択します。

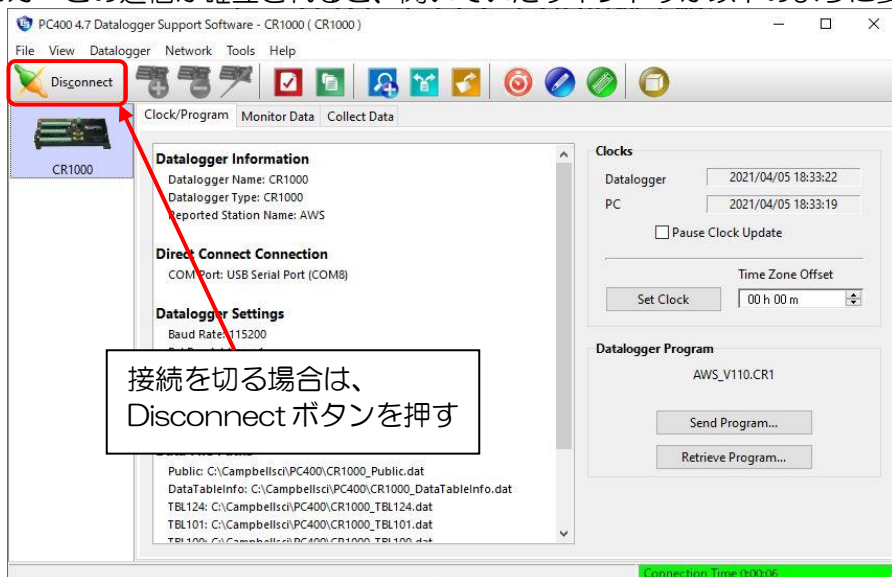


PC400 が起動すると、以下のようなメニュー画面が表示されます。
データロガーに電源が供給されている事を確認した後、“Connect” をクリックすると
データロガーと PC の通信が可能になります。



(上記図では、COM ポート 1、ロガー名 CR1000 となっています)
※COM ポート及びロガー名はお客様の PC 使用環境により異なります。

ロガーとの通信が確立されると、開いていたウィンドウが以下のように変化します。(一般的な表示例)

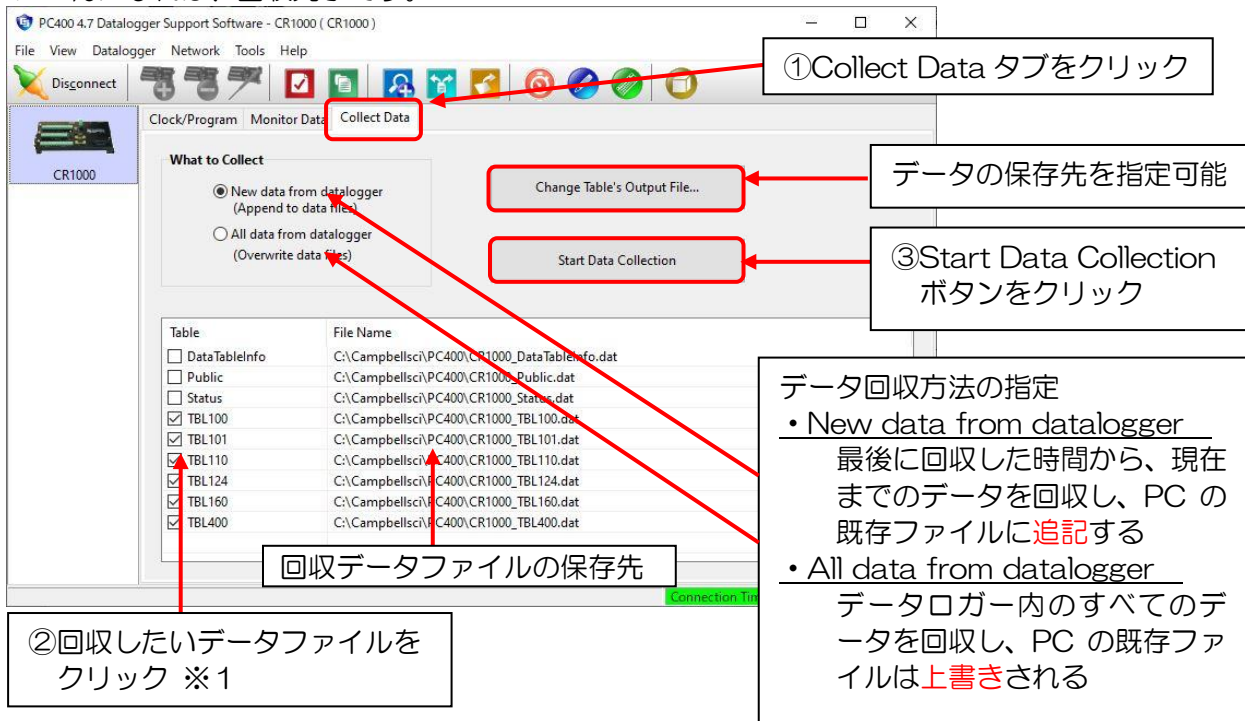


本操作は、初期設定が事前に完了しておくことが前提となります。
設定については、”初期設定”を参照して下さい。

※ 通信終了時は、必ず“Disconnect”をクリックして通信を切ってください。

データ回収

「Collect Data」のタブをクリックすると、データ回収画面になります。
“Start Data Collection”をクリックすると、チェックを入れたデータファイルの回収が開始します。
100%になれば、回収完了です。



※1 DataTableInfo, Public, Status はロガー内部情報です。通常、回収する必要はありません。

時刻合わせ

“Set Clock” をクリックすると、データロガーの時刻を PC の時刻に同期させることが可能です。

The screenshot shows the 'Clocks' section of the software. The 'Datalogger' clock is set to 2021/04/05 18:33:22 and the 'PC' clock is set to 2021/04/05 18:33:19. A 'Set Clock' button and a 'Time Zone Offset' field (set to 00 h 00 m) are highlighted with red boxes. A callout box explains that the PC clock can be used to adjust the logger's time, typically using 00h00m, and provides an example of adjusting a logger's time to match a PC's time in Japan.

Set Clock をクリック

PC の時刻から何時間かずらしてロガーの時刻を合わせる事が可能
通常は 00h00m で使用
〈使用例〉
海外に設置したデータロガーの時刻を日本時間の PC で現地時刻に合わせる

リアルタイムモニタリング

Monitor Data タブをクリックすることで、リアルタイムのデータモニタリングが可能です。

The screenshot shows the 'Monitor Data' tab with a table of real-time data. The table has columns for RecNum, TimeStamp, and various sensor readings. Callout boxes explain the 'Add' and 'Delete' buttons, and the 'Options' menu. A callout box also explains that the 'Options' menu allows for customizing decimal display, row, and column counts.

Add : モニタリング要素の追加

Delete : 表示されている要素の削除

Monitor Data タブをクリック

RecNum	17	Year	2,018.00	Flag(6)	0.00
TimeStamp	27 15:04:38	Month	3.00	Flag(7)	0.00
Int_Temp	24.81	DOM	27.00	Flag(8)	-1.00
Batt_Volt	12.13	Hour	15.00	Flag(9)	0.00
Prog_Ver	1.00	Minute	4.00	Flag(10)	0.00
RH_4m	-3.63	Second	0.00	Flag(11)	0.00
RH_n1m	-4.28	uSecond	0.00	Flag(12)	0.00
SW_upper	1,490.28	WeekDay	3.00	Flag(13)	0.00
LW_upper	NAN	Day_of_Year	86.00	Flag(14)	0.00
SW_lower	1,531.93	hhmm	1,504.00	Flag(15)	0.00
LW_lower	1,842.03	Flag(1)	-1.00	Flag(16)	0.00
hPa	798.70	Flag(2)	0.00	Port(1)	0.00
W_LVL_cm	-253.17	Flag(3)	0.00	Port(2)	0.00
WL_Offset	0.00	Flag(4)	0.00	Port(3)	0.00
Rain_mm	0.00	Flag(5)	0.00	Port(4)	0.00

Options : 小数点以下の表示や、行数や列数の変更などをカスタマイズ可能

計測プログラムのインストール方法

※：計測プログラムをインストールすると、それまでデータロガー内に存在していたデータは削除され同名のプログラムは上書きされますので、事前にデータ（必要に応じてプログラム）回収を確実に行ってください。

計測プログラムの入れ替えの際には、以下の手順に従ってデータロガーへのインストールを行ってください。

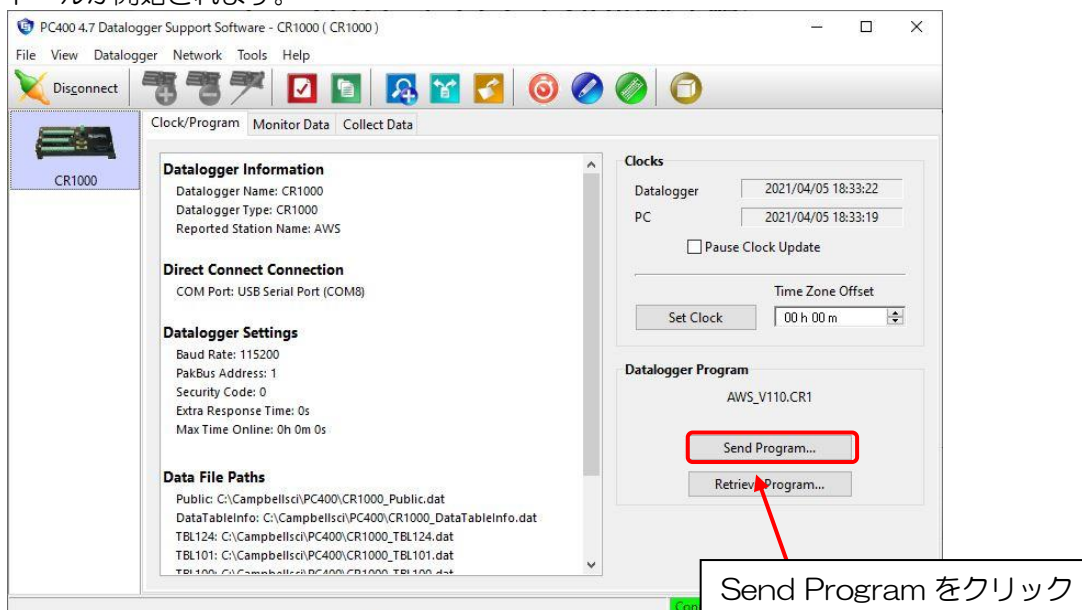
プログラムをHDに移す

入れ替えたいプログラムを、本ソフトの格納先フォルダなどわかりやすいフォルダに保存して下さい。送るプログラムはデータロガーによって、拡張子が異なります。データロガーと拡張子の対応については、以下を参照してください。

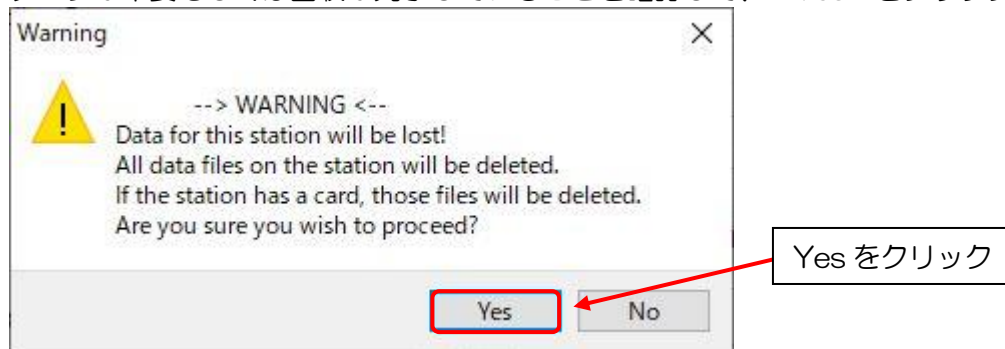
データロガー	プログラムの拡張子
CR1000	*.CR1
CR1000X	*.CR1X
CR800/850	*.CR8
CR6	*.CR6
CR300/310	*.CR300
CR3000	*.CR3
CR5000	*.CR5

データロガーへのインストール

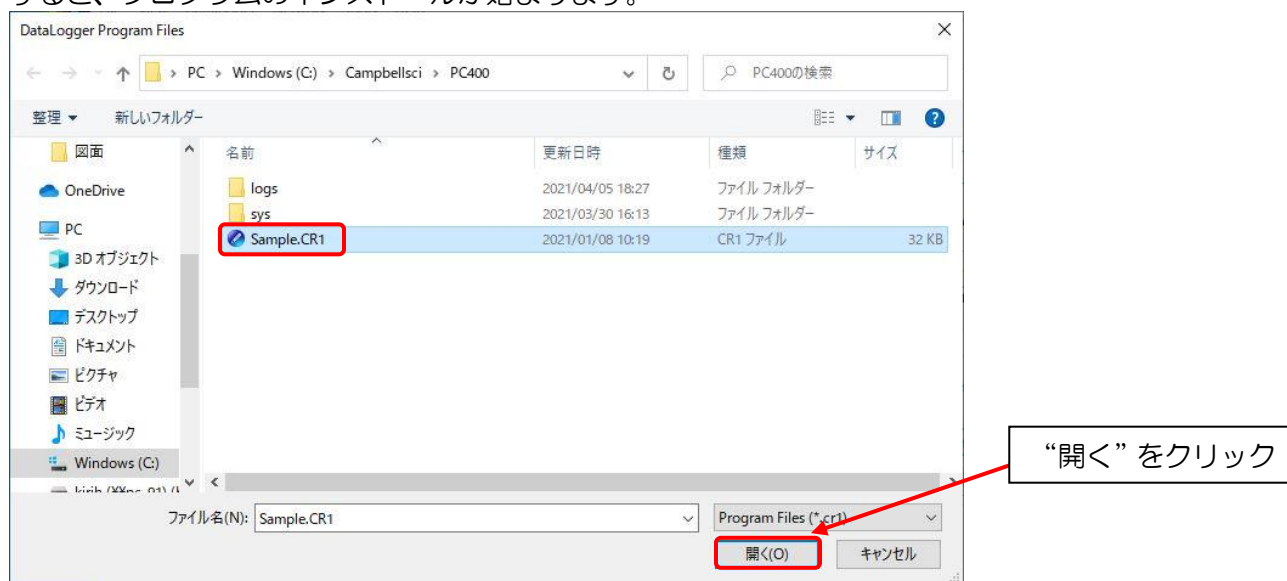
データロガーと PC の通信を確立した状態で、” Send Program ” をクリックするとデータロガーへのインストールが開始されます。



データロガー内にあるデータが削除される旨の Warning ウィンドウが開きます。
データが不要もしくは回収が完了していることを確認して、“Yes” をクリックします。



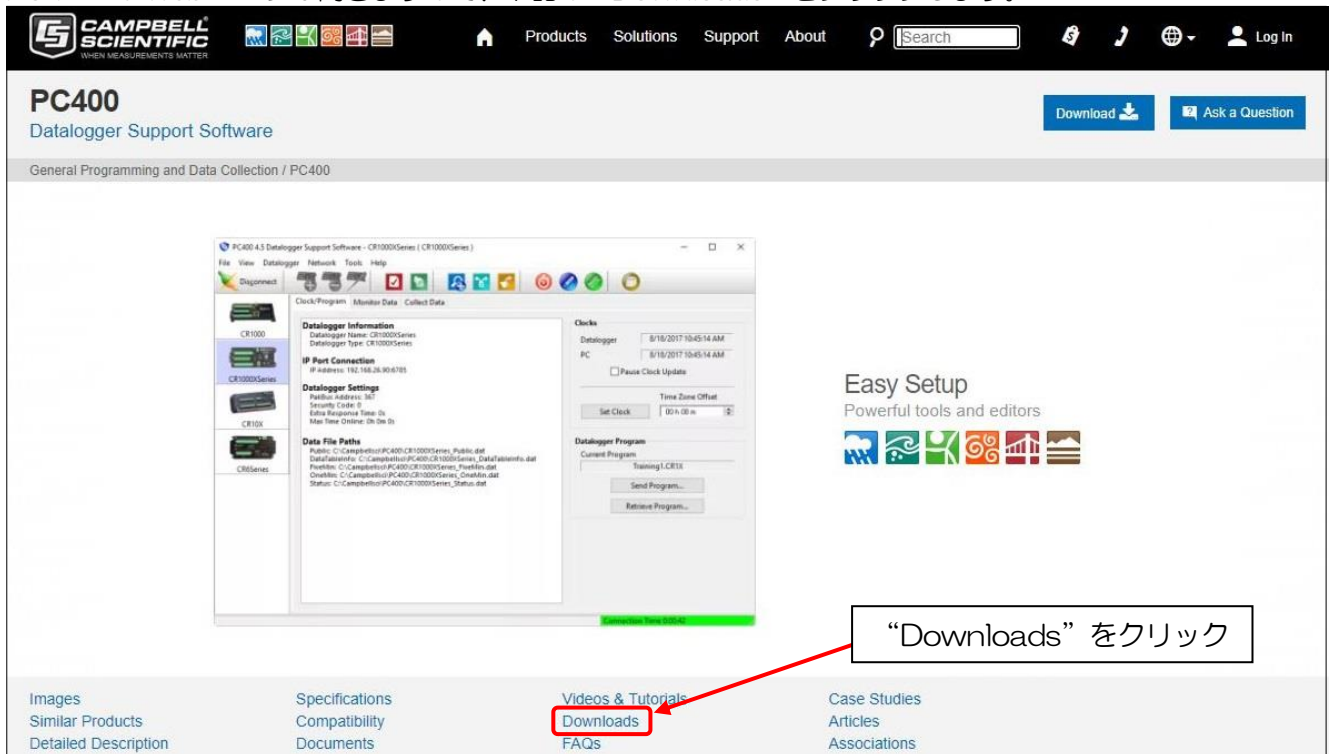
プログラム選択ウィンドウが開きますので、インストールするプログラムを選択して”開く” をクリックすると、プログラムのインストールが始まります。



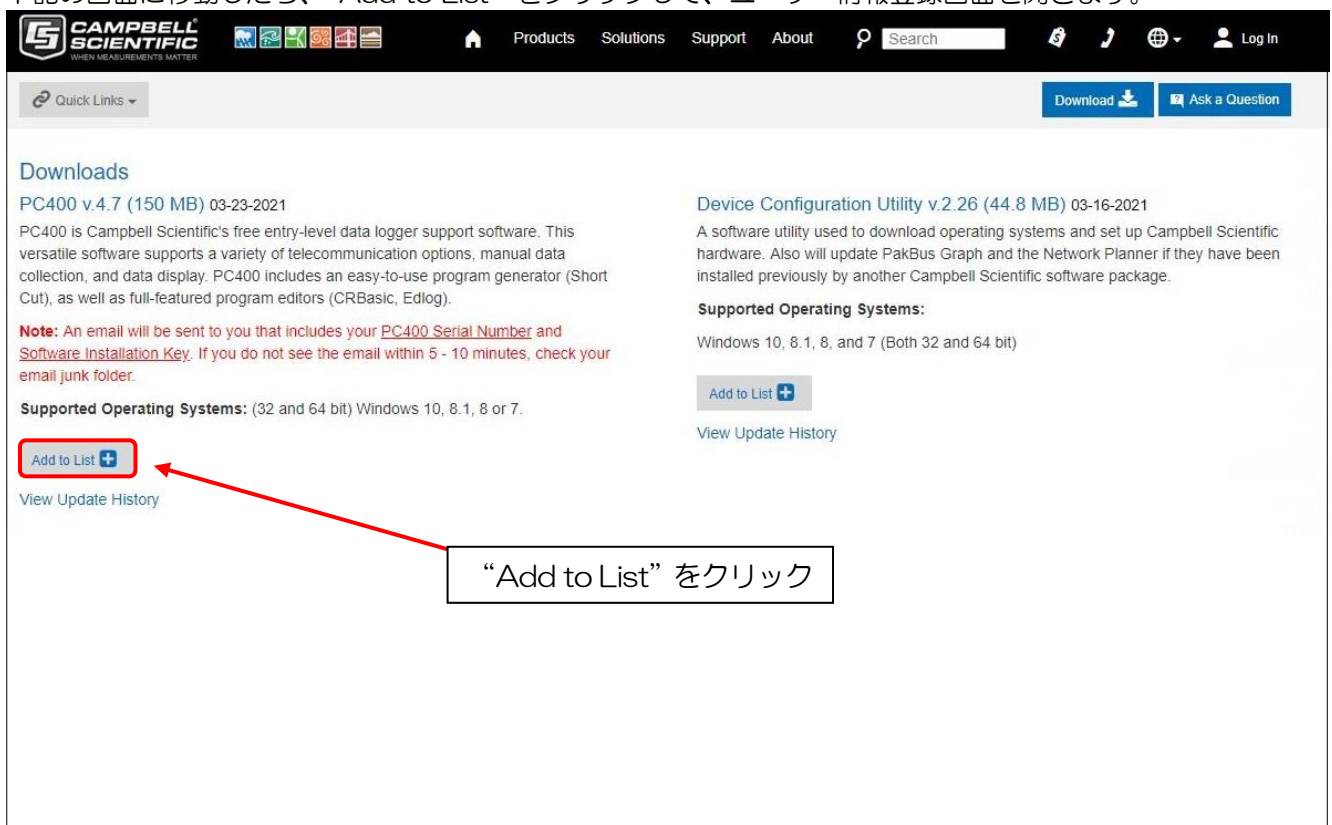
PC400 のインストール

PC400 のダウンロード

ブラウザを起動し、アドレスに <https://www.campbellsci.com/pc400> と入力し Enter を押します。PC400 の Web ページが開きますので、下記の “Downloads” をクリックします。



下記の画面に移動したら、“Add to List” をクリックして、ユーザー情報登録画面を開きます。



Name(名前)、受信可能な Email(メールアドレス)、Organization(会社名等)、Country(国名)に情報を入力して登録します。

必要な情報の入力が完了したら、“Submit” をクリックします。

The screenshot shows the 'Downloads Registration' form on the Campbell Scientific website. The form includes the following fields:

- Name (first & last)***: A text input field with the placeholder 'Name (first & last)'. An annotation points to this field with the text: 'Name に名前を入力'.
- Email (please double check)***: A text input field with the placeholder 'Email (please double check)'. An annotation points to this field with the text: 'Email にメールアドレスを入力'.
- Organization (optional)**: A text input field with the placeholder 'Organization (optional)'. An annotation points to this field with the text: 'Organization に会社名等を入力 ※入力しなくても構いません'.
- Country (optional)**: A dropdown menu with 'Japan' selected. An annotation points to this field with the text: 'Country に国名を選択 ※入力しなくても構いません'.

At the bottom of the form, there is a 'Reset' button and a blue 'Submit' button. An annotation points to the 'Submit' button with the text: '全てを入力し終わったら “Submit” をクリック'.

“Submit” をクリックして、このような画面が表示されましたらユーザー登録は完了です。Campbell から登録したメールアドレスにダウンロード URL や CDKey が送られますので、メール受信ボックスを開いて下さい。

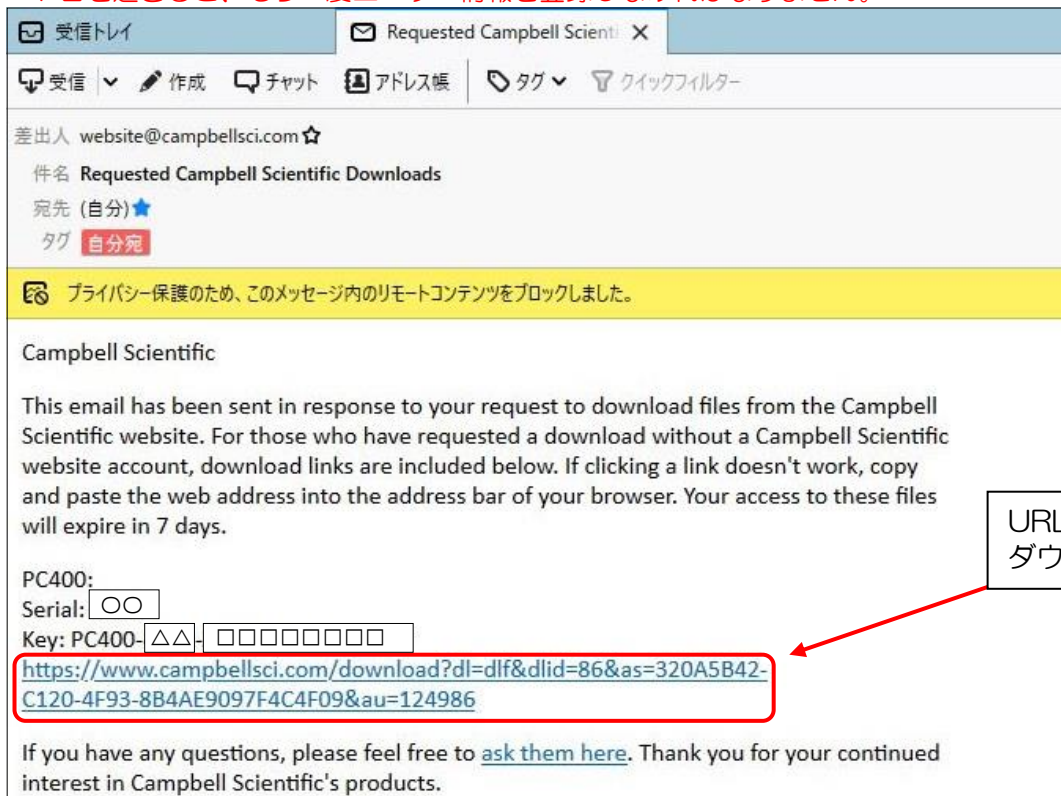
The screenshot shows the 'Downloads' page on the Campbell Scientific website after successful registration. The page displays the following information:

- Registration Complete**: A message stating 'You have successfully registered for the downloads you selected. An email has been sent to tamura@weather.co.jp, which contains links to your selected downloads.'
- Search by Name**: A search bar with a 'Search' button.
- Downloads by Name**: A dropdown menu with 'Available Downloads' selected.
- Downloads by Category**: A list of categories including Cellular Modems, Drivers, Operating Systems | Communication Device, Operating Systems | Datalogger, Operating Systems | Other, Program | Examples, Program | System Programs, Software | Datalogger Support, Software | Development Kits, Software | Language Files, Software | Patches / Upgrades, Software | Trials, and Software | Utilities. A 'View All' button is located at the bottom of this list.

下記のようなメールが Campbell から登録したメールアドレスに送られていることを確認してください。
メール本文の URL をクリックすると、PC400 のダウンロードが始まります。

※ユーザー情報を登録して7日以内にダウンロードしてください。

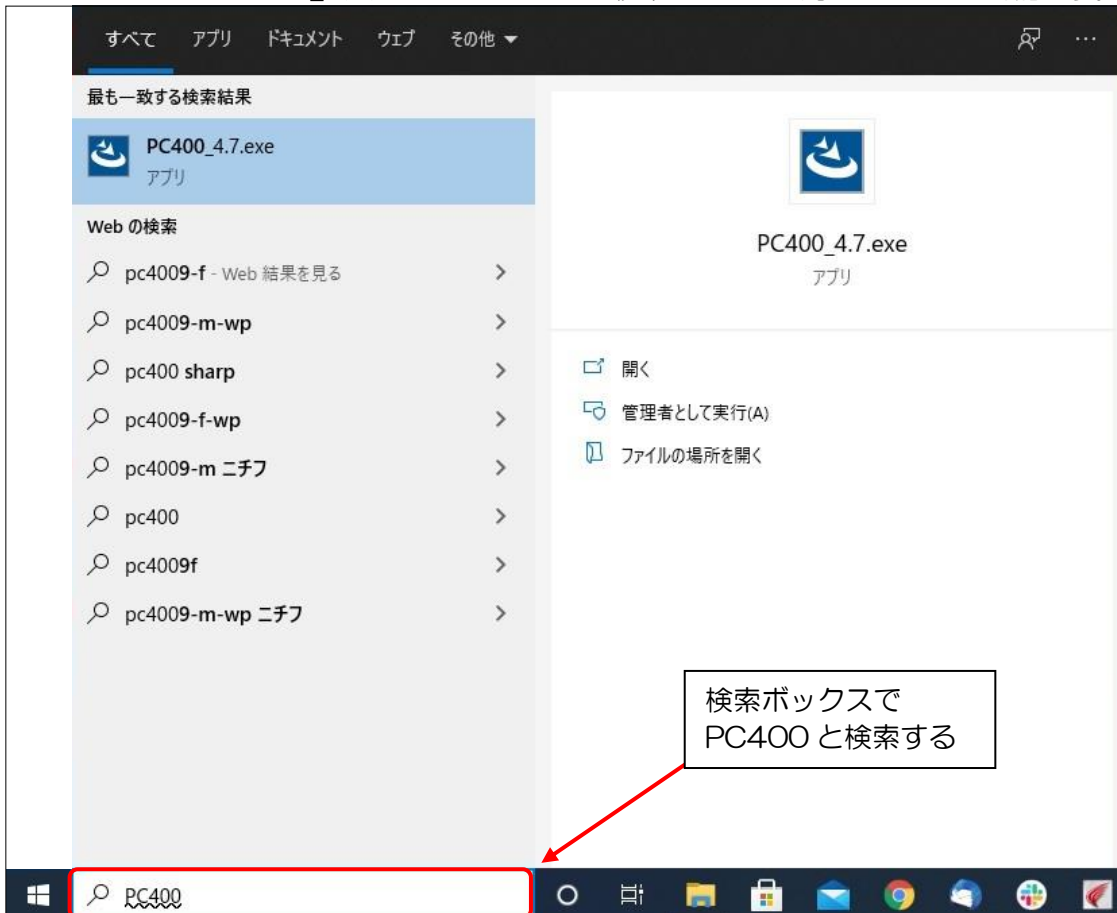
7日を過ぎると、もう一度ユーザー情報を登録しなければなりません。



URL をクリックすると
ダウンロードが始まる

※今回、Serial と CDKey は伏せさせてもらっています。

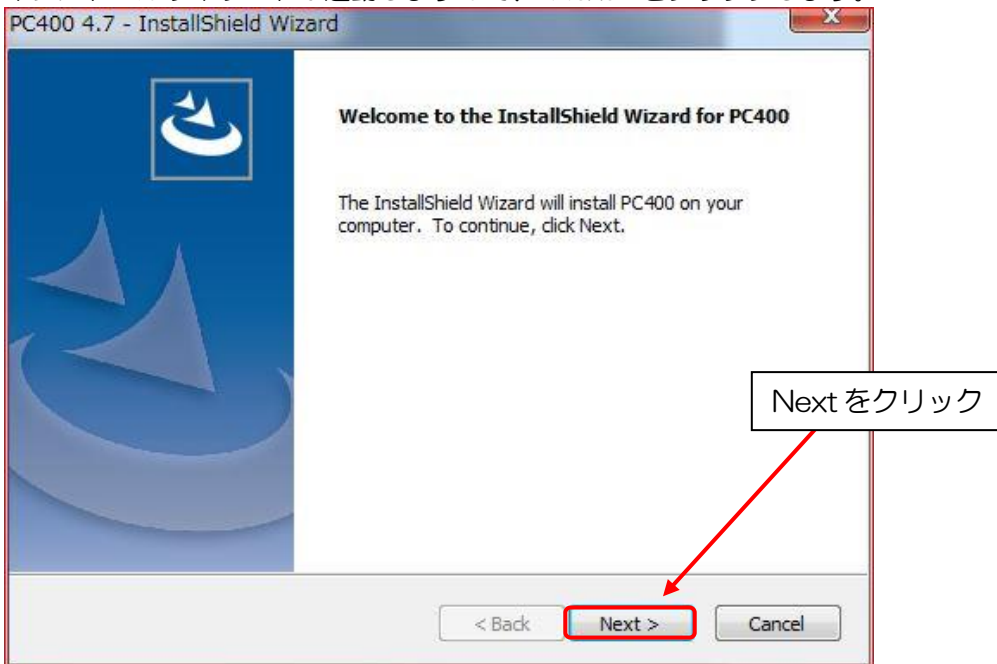
Download した PC400_4.7.exe はタスクバーの検索ボックスで見つけることが可能です。



検索ボックスで
PC400 と検索する

PC400 のインストール

ダウンロードした“PC400_4.7.exe”をダブルクリックします。
インストールウィザードが起動しますので、“Next”をクリックします。



ライセンス契約書に合意し、“Next”をクリックします。



ユーザ名、会社名および CD Key を入力して、” Next ” をクリックします。

PC400 4.7 - InstallShield Wizard

User Information
Enter your registration information.

The CD Key can be obtained from Campbell Scientific, Inc.

User Name: Required

Company: Required

CD Key: PC400 - △△ - □□□□□□ Required

InstallShield

< Back **Next >** Cancel

User Name に入力

Company に入力

Next をクリック

受信トレイ Requested Campbell Scientific X

受信 作成 チャット アドレス帳 タグ クイックフィルター

差出人 website@campbellsci.com ☆

件名 Requested Campbell Scientific Downloads

宛先 (自分) ☆

タグ 自分宛

プライバシー保護 コンテンツをブロックしました。

Campbell Scientific

This email has been sent in response to your request to download files from the Campbell Scientific website. For those who have requested a download without a Campbell Scientific website account, download links are included below. If clicking a link doesn't work, copy and paste the web address into the address bar of your browser. Your access to these files will expire in 7 days.

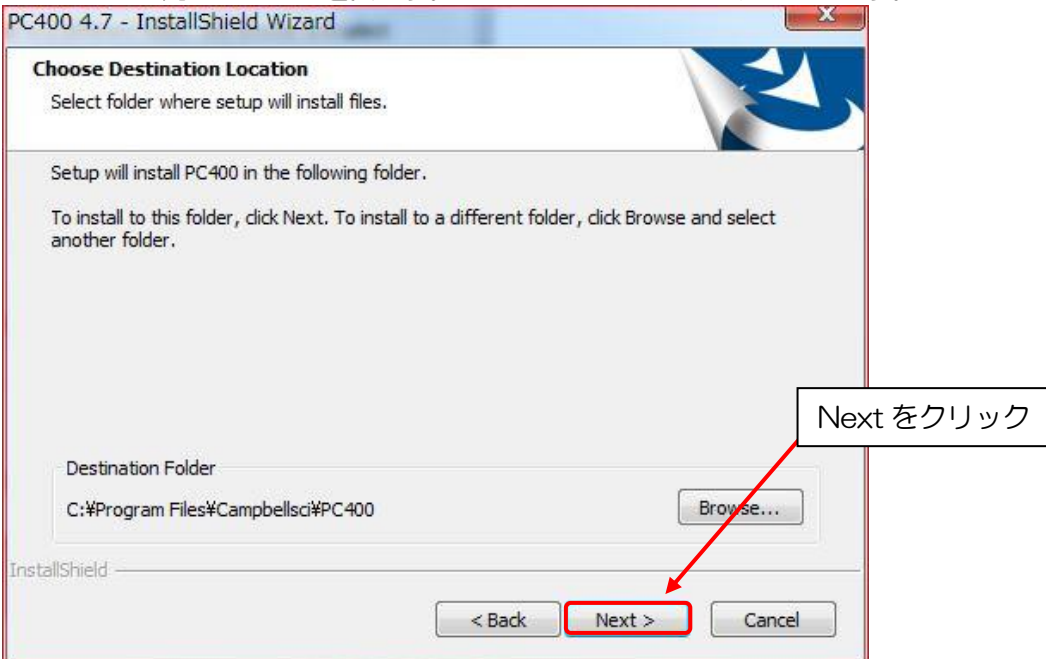
PC400:
Serial: ○○○
Key: PC400-△△-□□□□□□

<https://www.campbellsci.com/download?dl=dlf&dldid=86&as=320A5B42-C120-4F93-8B4AE9097F4C4F09&au=124986>

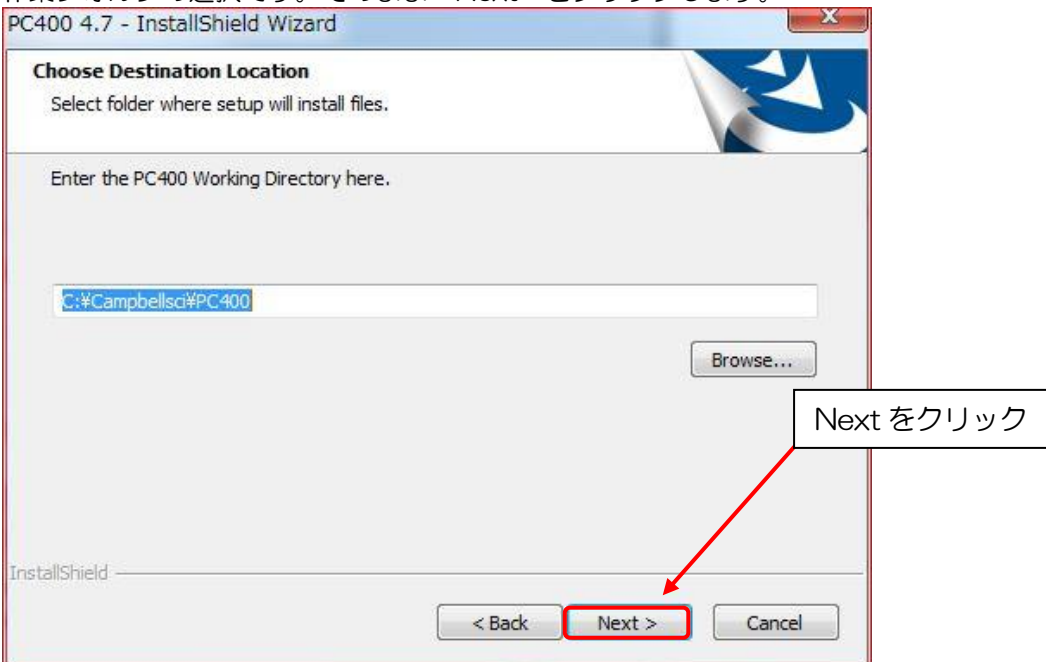
If you have any questions, please feel free to [ask them here](#). Thank you for your continued interest in Campbell Scientific's products.

メールに記載された CDKey を入力

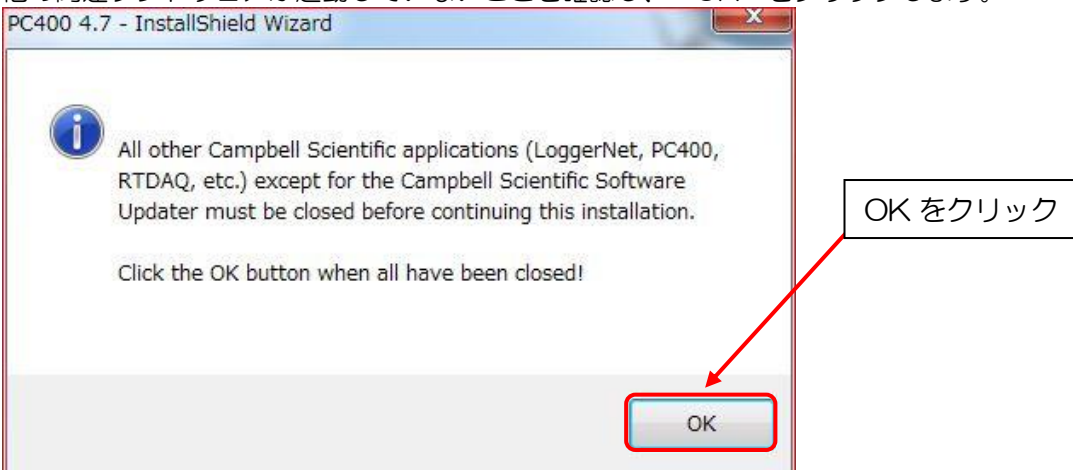
インストール先フォルダの選択です。そのまま” Next” をクリックします。



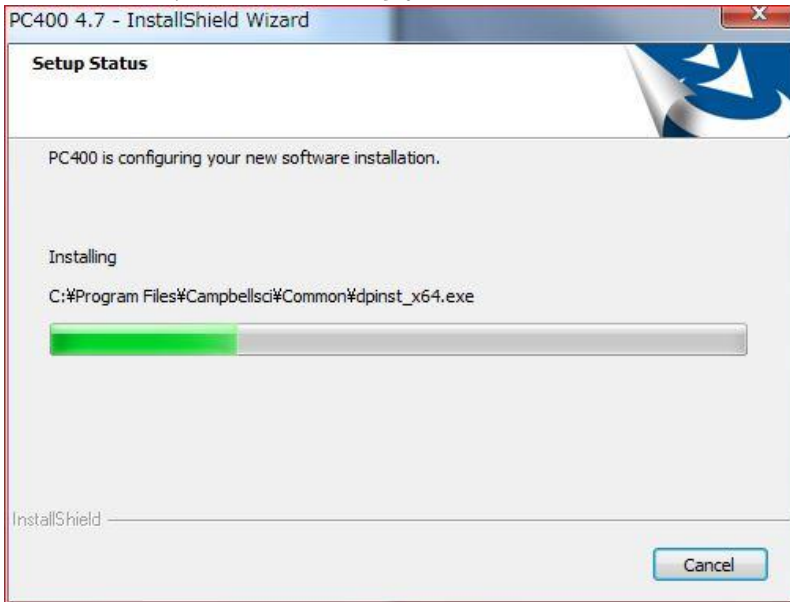
作業フォルダの選択です。そのまま” Next” をクリックします。



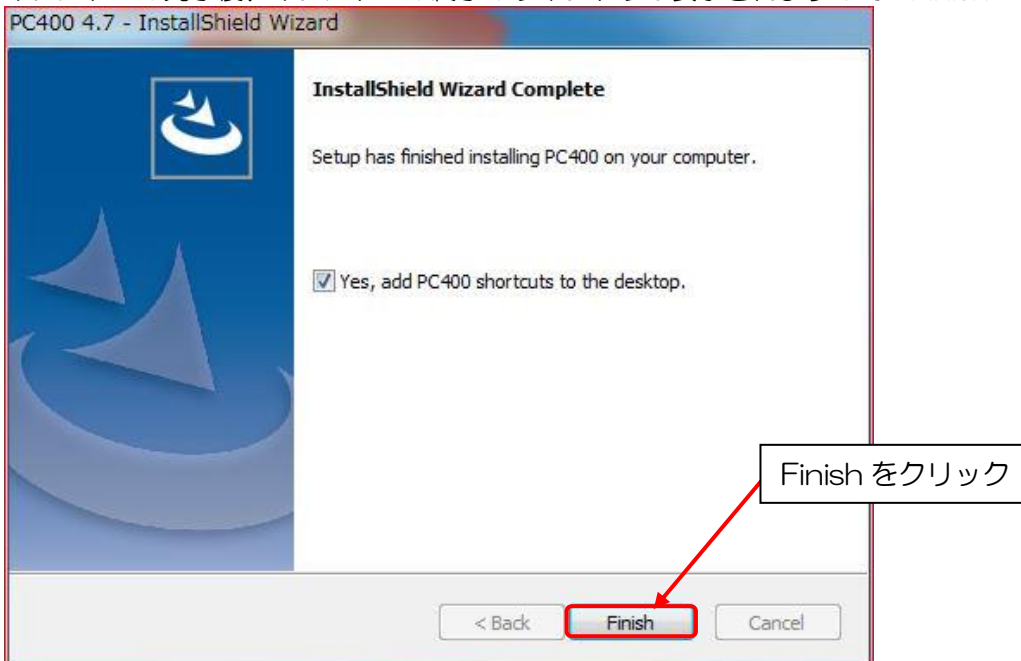
他の関連ソフトウェアが起動していないことを確認し、” OK” をクリックします。



インストール中のウィンドウです。



インストール完了後、インストール終了のウィンドウが表示されますので” Finish” をクリックします。

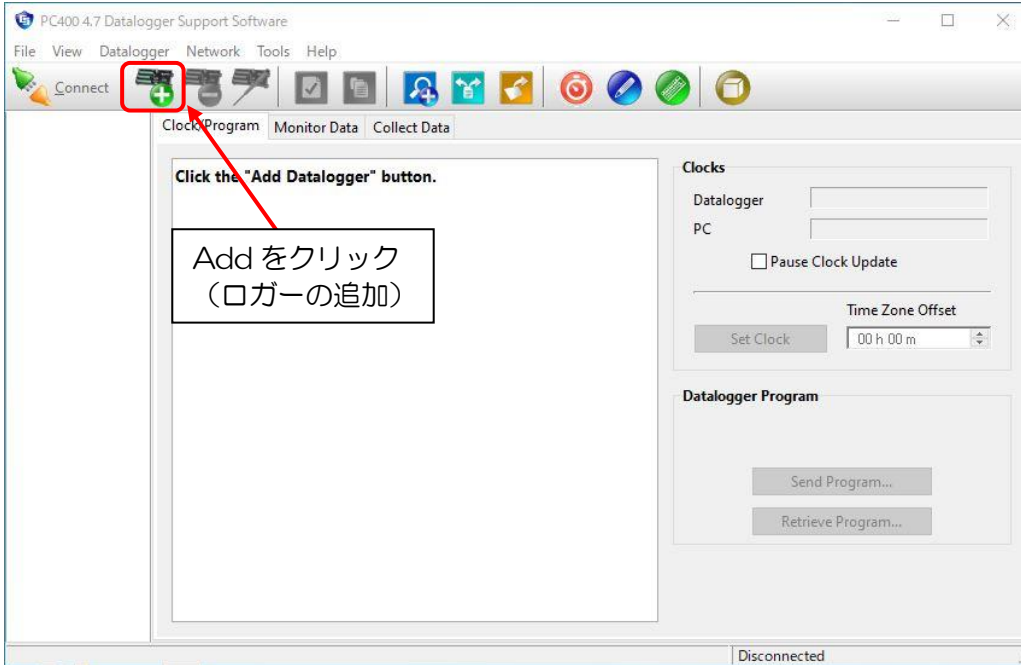


初期設定

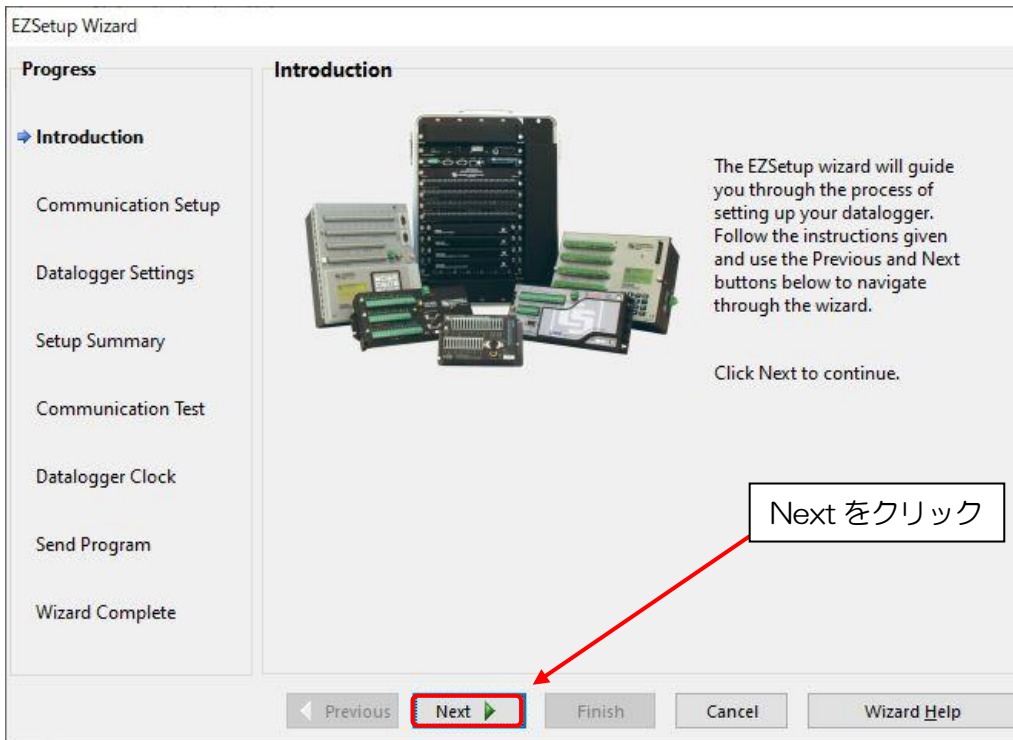
本ソフトのインストールが完了すると、以下のウィンドウが開きます。



をクリックすると、設定を開始します。



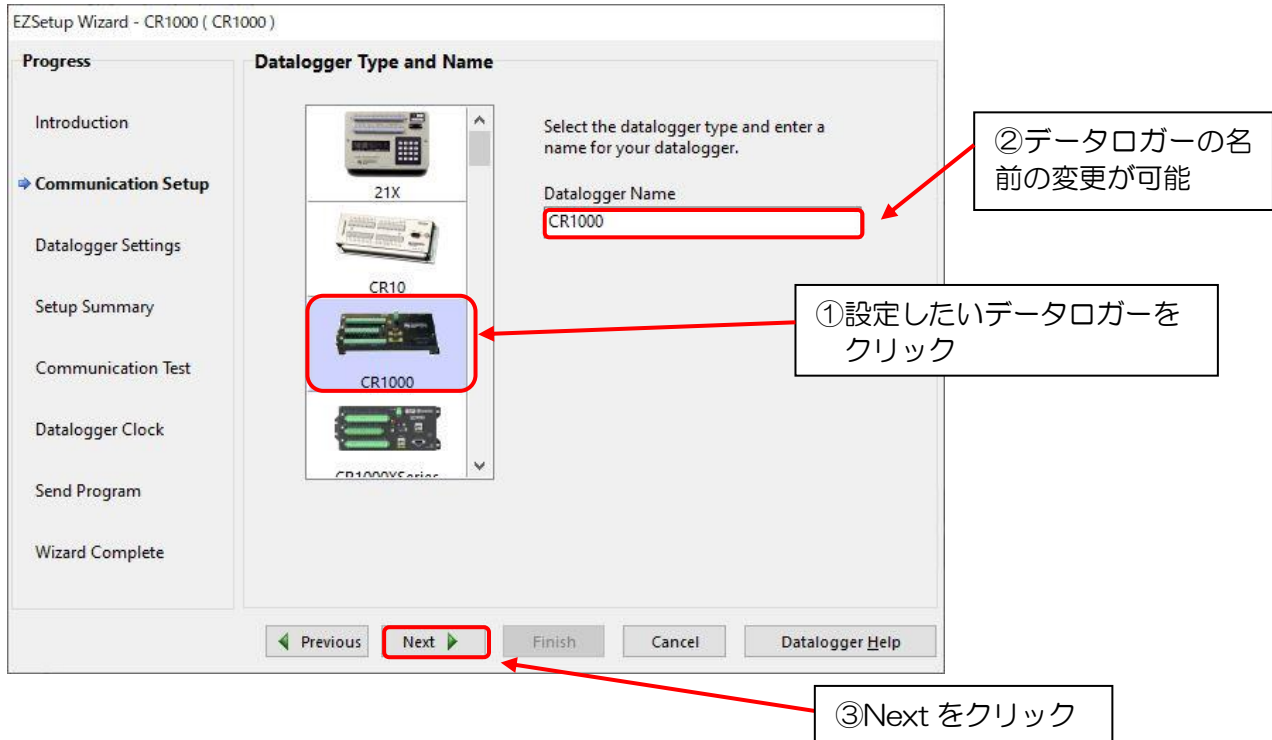
クリックした後に、EZSetup というサブウィンドウが開きます。
“NEXT” をクリックします。



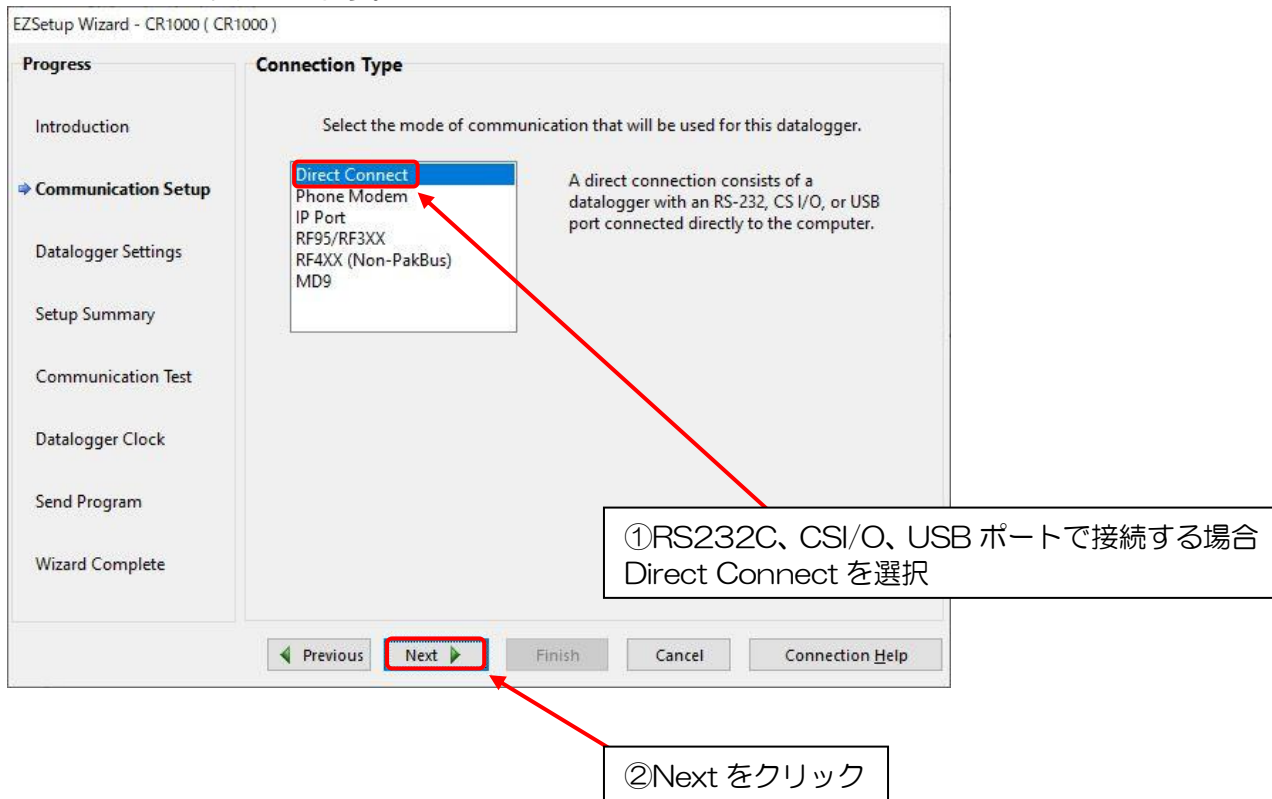
Communication Setup

データロガー選択の画面になります。

接続したいデータロガーを選択して、“Next” をクリックします。必要に応じて、データロガーの名前を変更してください。データロガーの名前は、データロガーから回収されるデフォルトデータファイル名に使用されます。

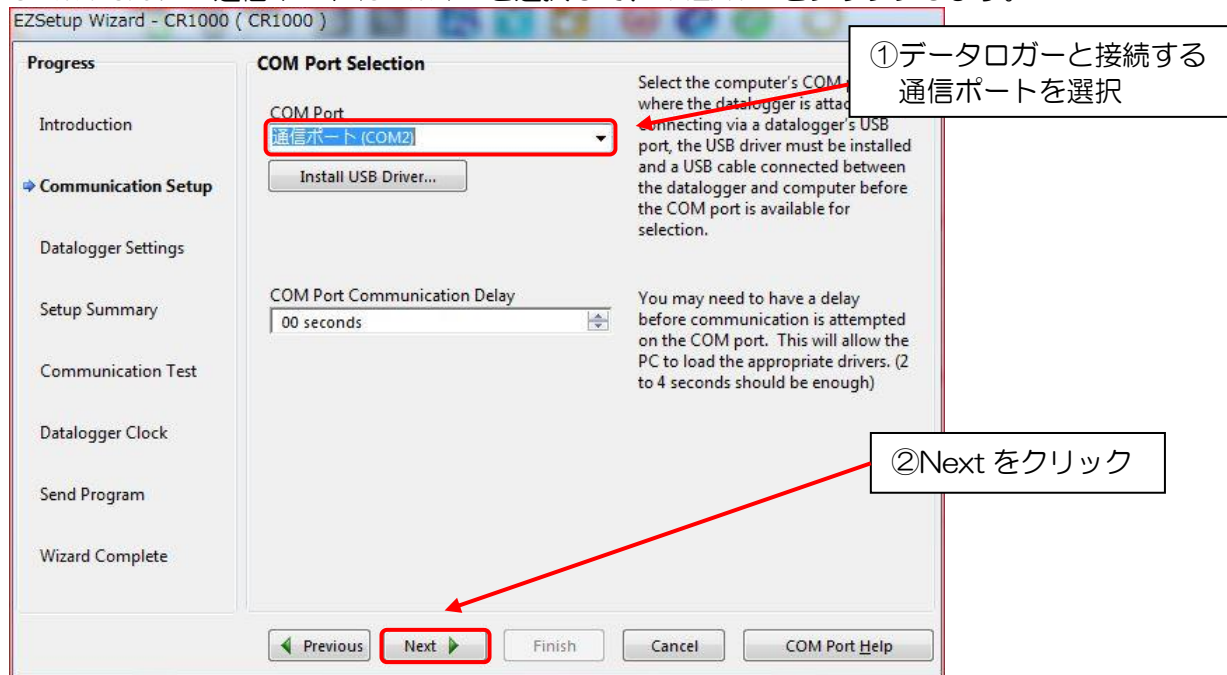


RS232C、CSI/O、USB ポートで接続する場合、“Direct Connect” を選択します。“NEXT” をクリックします。



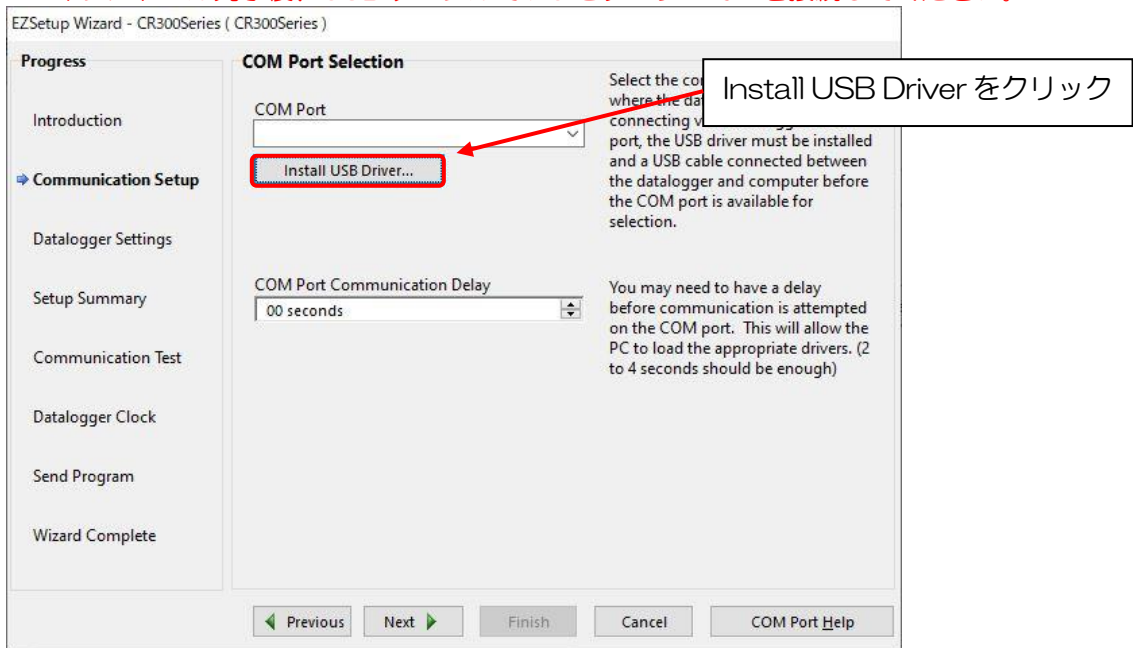
RS232C、CSI/Oポートで接続する場合

COM Port に” 通信ポート(COM*)” を選択して、“NEXT” をクリックします。

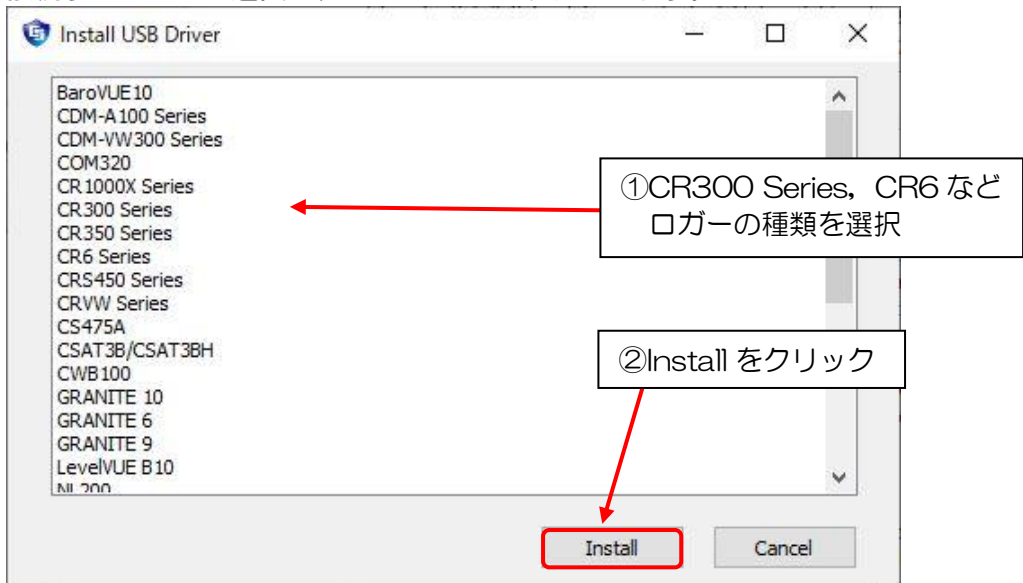


USBポートで接続する場合

CR300/310, CR6, CR1000X を USB ケーブルで接続する際には、USB ドライバをインストールするために “Install USB Driver “をクリックします。
※ USB Driver のインストール完了まで PC とデータロガーを接続しないでください。
インストール完了後、USB ケーブルで PC とデータロガーを接続してください。



接続するロガーを選択し、“Install “をクリックします。



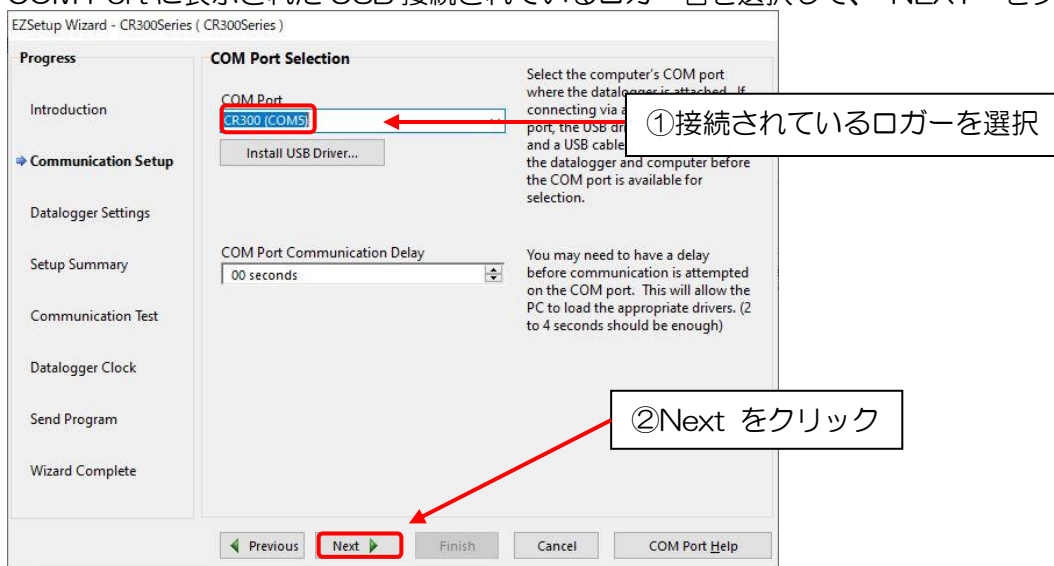
” 次へ” をクリックすると、ドライバのインストールを開始します。



” 完了” をクリックすると、ドライバのインストールが終了します。

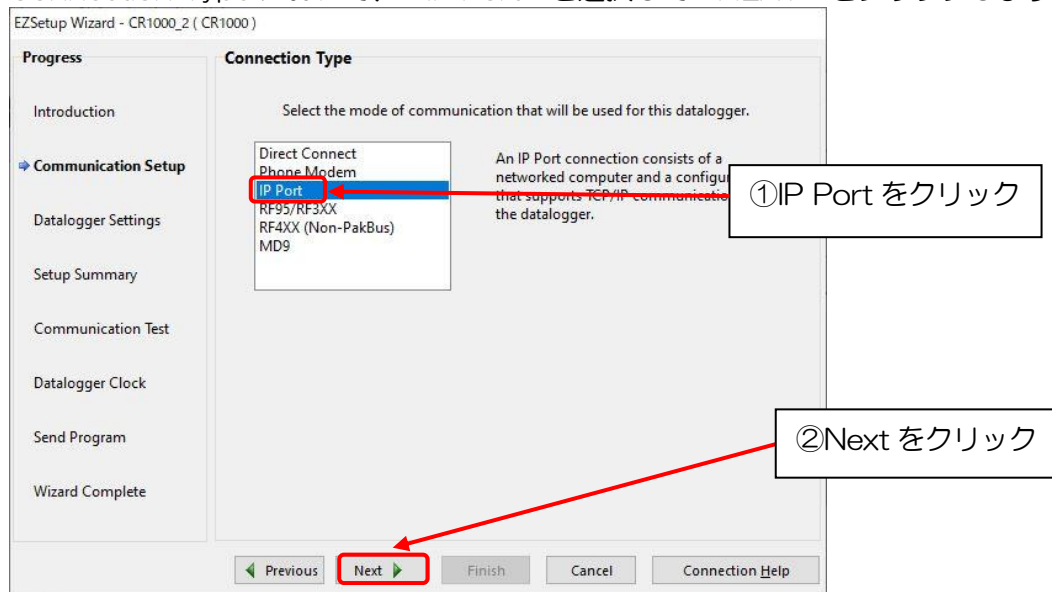


PC とデータロガーを USB ケーブルで接続します。
COM Port に表示された USB 接続されているロガー名を選択して、“NEXT” をクリックします。

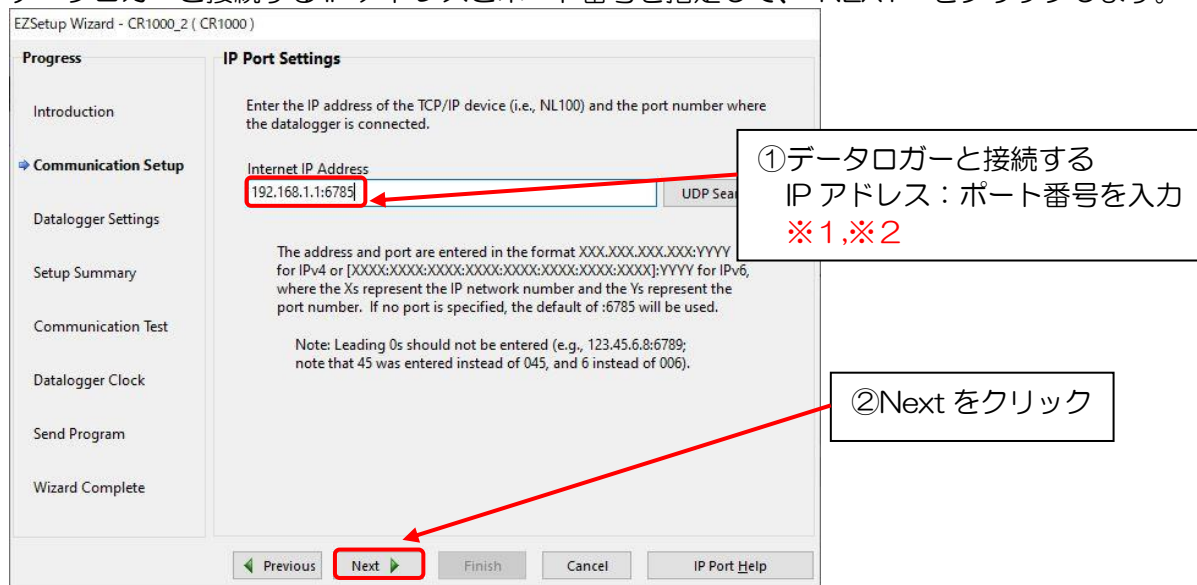


IPポートで接続する場合

Connection Type において、” IP Port” を選択して “NEXT” をクリックします。



データロガーと接続する IP アドレスとポート番号を指定して、“NEXT” をクリックします。



※1：IPアドレスは0を省いて入力して下さい。
例：192.168.001.001の場合
↓
192.168.1.1と入力

※2：ポート番号は下記の値がデフォルト値となります。
6783：NL100 (CSI/O)
6784：NL100 (RS232C)
6785：CR310, CR6, CR1000X, NL115, NL116, NL120, NL121

Datalogger Settings

通常はデフォルトで問題ありませんので、“NEXT” をクリックします。

EZSetup Wizard - CR1000 (CR1000)

Progress

- Introduction
- Communication Setup
- **Datalogger Settings**
- Setup Summary
- Communication Test
- Datalogger Clock
- Send Program
- Wizard Complete

Datalogger Settings

Baud Rate
115200

Select the baud rate that will be used in communicating with the datalogger. Note: The max baud rate for SC32A interfaces is 19,200 bps. The max for SC929 is 38,400 bps.

PakBus Address
1

A unique PakBus address is used to identify the datalogger in the PakBus network. Enter the PakBus address that was set on the datalogger. Valid range is 1-4094. Suggested range is 1-3999.

Extra Response Time
00 seconds

If the datalogger requires extra time to respond, enter the extra response time.

Max Time On-Line
00 h 00 m 00 s

Because some links are costly, it may be desired to have the connection closed automatically. Enter the maximum time for a connection to stay online. 0 means stay online until the user disconnects.

Neighbor PakBus Address
0

The PakBus address for a PakBus neighbor used to communicate with the datalogger. For example the Konect router address. A value of 0 means connect directly with the datalogger.

Next をクリック

Previous Next Finish Cancel Settings Help

接続時に設定されているセキュリティがあれば入力して、“NEXT” をクリックします。デフォルト設定の場合は、そのままの設定で問題ありません。

EZSetup Wizard - CR1000 (CR1000)

Progress

- Introduction
- Communication Setup
- **Datalogger Settings**
- Setup Summary
- Communication Test
- Datalogger Clock
- Send Program
- Wizard Complete

Datalogger Settings - Security

Security Code
0

If a security code is set on the datalogger, enter it here. 0 means security will not be used.

PakBus Encryption Key

If the PakBus Encryption Key is set on the datalogger, enter it here. Otherwise, you may leave this field blank.

Next をクリック

Previous Next Finish Cancel Security Settings Help

Setup Summary

EZSetup による設定の結果が表示されます。

通常は、ここまでの設定で十分ですので“Finish”をクリックします。

EZSetup Wizard - CR1000 (CR1000)

Progress

- Introduction
- Communication Setup
- Datalogger Settings
- ➔ **Setup Summary**
- Communication Test
- Datalogger Clock
- Send Program
- Wizard Complete

Communication Setup Summary

The following is a summary of the datalogger setup.

Datalogger Information

- Datalogger Name: CR1000
- Datalogger Type: CR1000

Direct Connect Connection

- COM Port: USB Serial Port (COM8)

Datalogger Settings

- Baud Rate: 115200
- PakBus Address: 1
- Security Code: 0
- Extra Response Time: 0s

◀ Previous Next ▶ Finish Cancel Summary Help

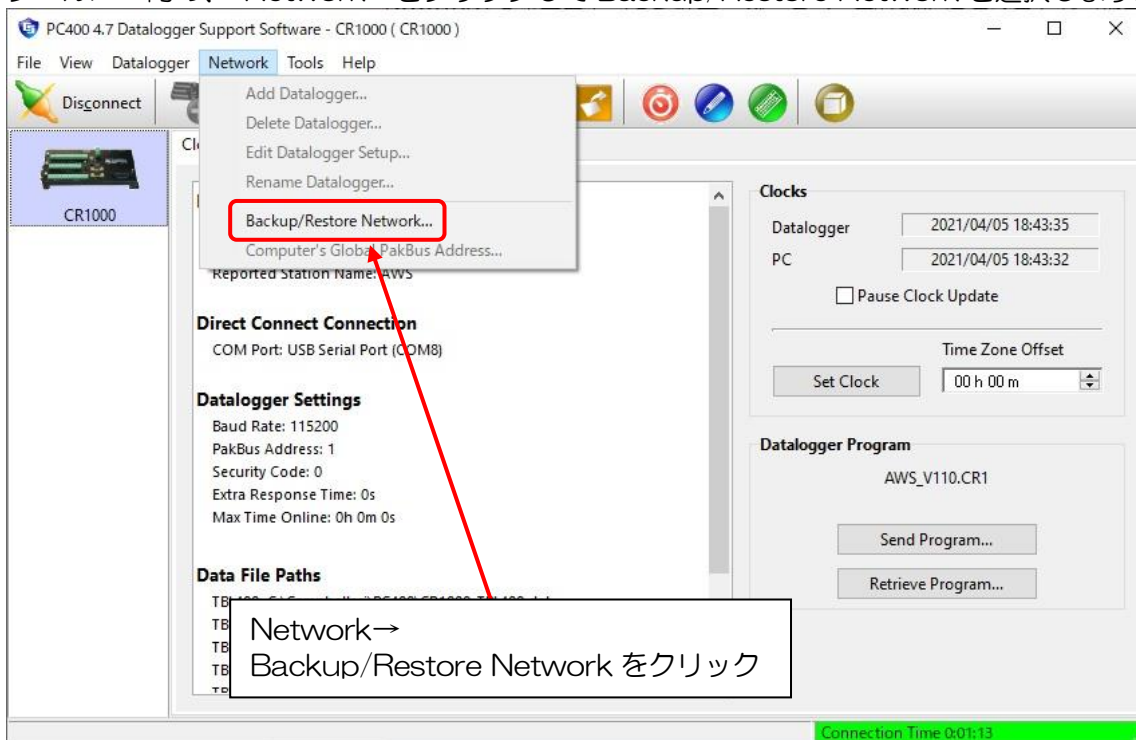
前の画面に戻る場合は Previous をクリック

通信試験等を行う場合は Next をクリック

設定を終了する場合は Finish をクリック

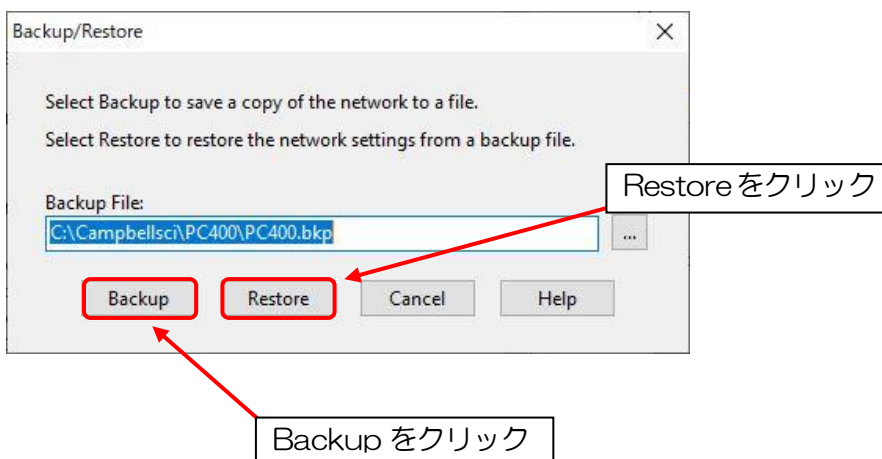
PC400 設定のバックアップと復旧

PC400 の設定を下記の手順で、バックアップ及び復旧することが可能です。
ツールバー内の、“Network” をクリックして Backup/Restore Network を選択します。



バックアップ／復旧方法

バックアップの場合は、パスおよびバックアップファイル名を指定して“Backup”をクリックします。
復旧したい場合は、バックアップファイルを指定して“Restore”をクリックします。



CF カードの交換について(CFM100,NL115 共通)

CF カードの交換には細心の注意が必要です。場合によっては、せっかく記録したデータを失うことになる可能性があります。

CF カードの挿入



データロガーの電源が ON であることを確認した後、フォーマット済みの CF カードを挿入してください。CF カードが正常に挿入されると、LED が赤く点滅し始めます。

これは、保存データを CF カードに書込むために必要な CF カード内部のメモリ領域確保が行われていることを示しています。LED が消灯すれば、領域確保が正常に終了し書込み準備が完了しています。

LED の消灯を、必ず確認してください。

領域確保後は、保存データが CF カードに書込まれるタイミングで一瞬赤く点灯します。

○領域確保中にオレンジ色が点灯する場合

LED がオレンジ色に点灯した場合は、領域確保に失敗しています。この場合は、正規の方法で CF カードを取り外し、フォーマット済みの CF カードを挿入してください。

CF カード内領域確保時間の目安

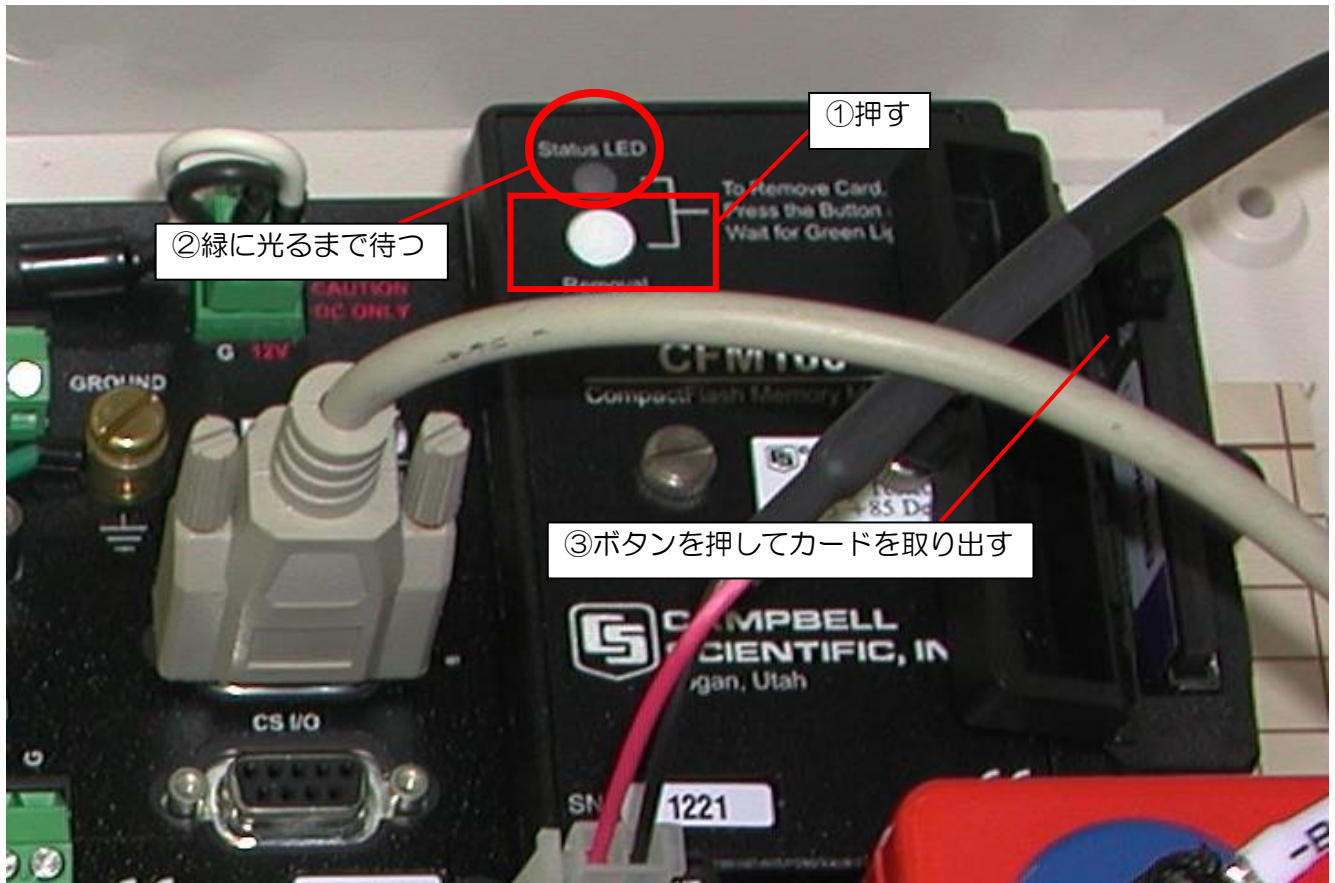
型番	Type	容量 (byte)	領域確保時間	備考
CF-1GMCFI	常温	1G	約 5 分	
CF-2GMCFI	常温	2G	約 10 分	
CF-512MCFI	低温	512M	約 3 分	
CF-1GMCFI	低温	1G	約 5 分	
CF-2GMCFI	低温	2G	約 10 分	

※ データロガーのプログラムなどにより、確保時間は前後する場合があります。

※ CF カードは、必ずフォーマットしたものを挿入して下さい。領域確保が正常にできない場合があります。

CF カードの取り外し

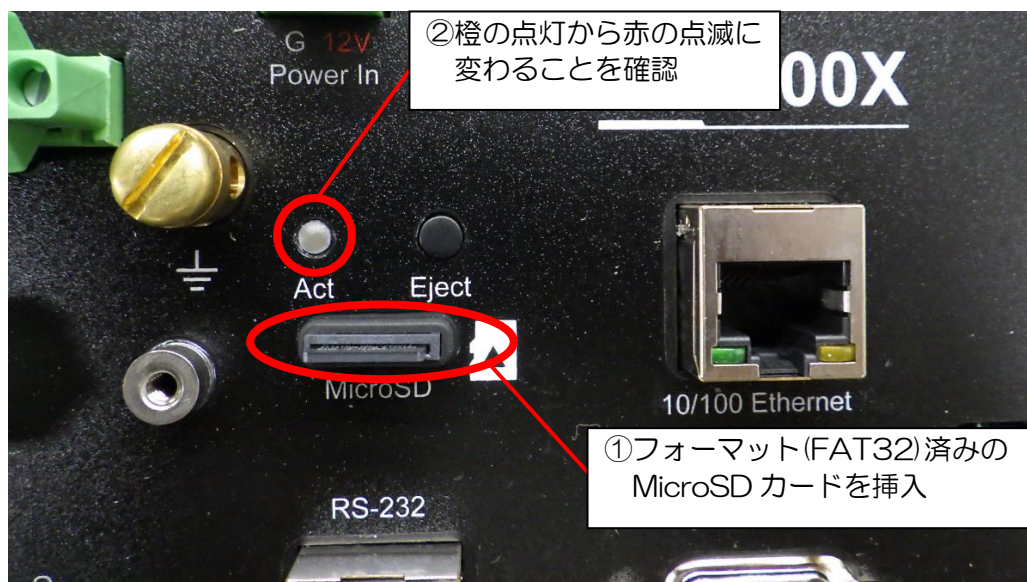
CF カードを外すためには、データロガー右部分にある白いボタンを押してください。取り出せる状態になるとランプが緑色になります。場合によっては、赤い点滅をしていて、なかなか緑にならないこともあります。緑になるまでお待ちください。これを待たないで CF カードを取り出すとデータを破壊する可能性があります。データ変換と CF カードの再利用方法については後述を参考願います。



MicroSD カードの交換について

MicroSD カードの交換には細心の注意が必要です。
場合によっては、記録したデータを失うことになる可能性があります。

MicroSD カードの挿入



データロガーの電源が入っていることを確認した後、フォーマット済みの MicroSD カードを挿入してください。MicroSD カードが正常に挿入されると Act LED が緑色で点灯し、書き込みが始まると Act LED が赤色で定期的に点灯します。

データの書き込みが始まった後にデータロガーの電源を切る場合は、必ず MicroSD カードを取り外してから電源を切ってください。MicroSD カードの取り外し方は“MicroSD カードの取り外し”の項をご参照ください。

データロガー上 Act LED の各色が示す状態

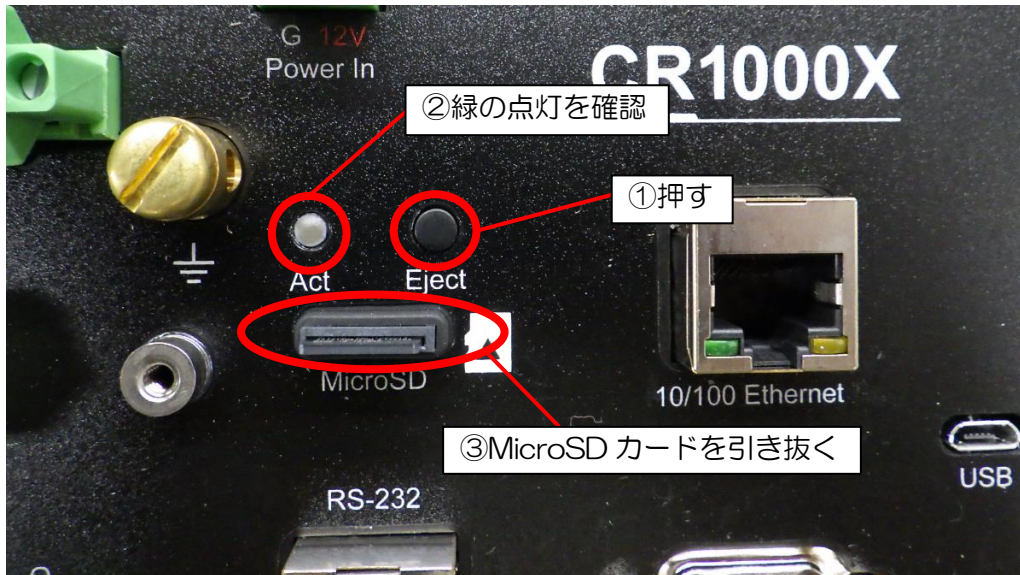
- ・ 赤色の点滅
→MicroSD カードの読み込みや書き込みが行われています。
- ・ 緑色の点灯
→フォーマットされた MicroSD カードが挿入され、書き込みが可能な状態や、MicroSD カードの取り外しが可能であることを示します。
- ・ オレンジ色の点灯
→エラーが発生したことを示します。この場合は正しく MicroSD カードを取り外してからフォーマット済みの MicroSD カードを挿入してください。
- ・ 薄暗いオレンジ色の点滅
→MicroSD カードが抜かれた状態でデータロガーの内部メモリがラップされ上書きされています。上書きされた分のデータは、MicroSD カードに保存されません。

※ MicroSD カードは、必ずフォーマットしたものを挿入して下さい。
領域確保が正常にできない場合があります。

MicroSD カードの取り外し

MicroSD カードを外すためには、データロガーの Eject ボタンを押してください。取り出せる状態になるとランプが緑色になります。場合によっては、赤い点滅をされていて、なかなか緑にならないこともあります。緑になるまでお待ちください。

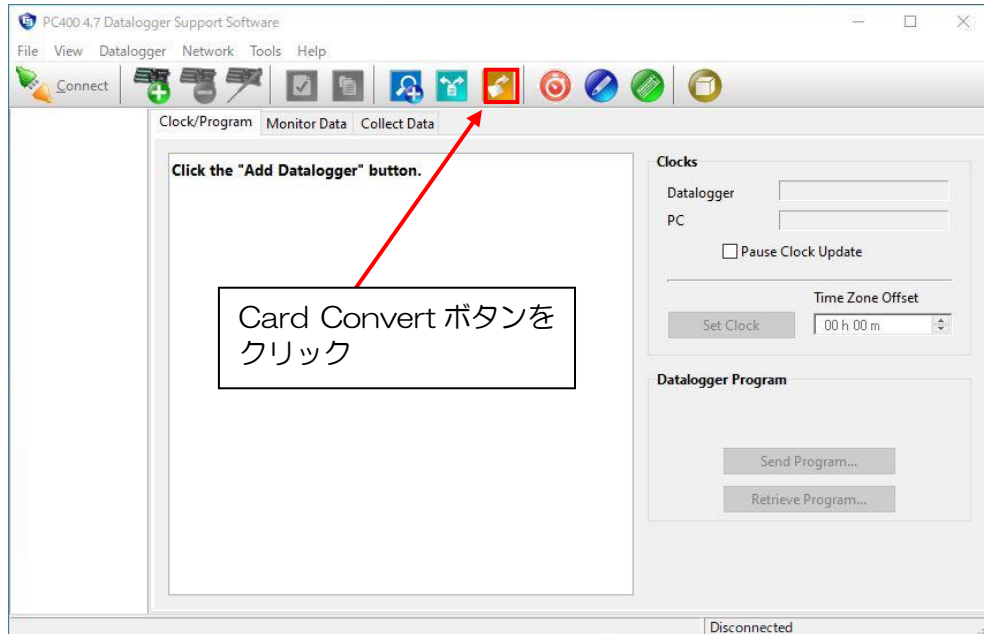
これを待たないで MicroSD カードを取り出すとデータを破壊する可能性があります。



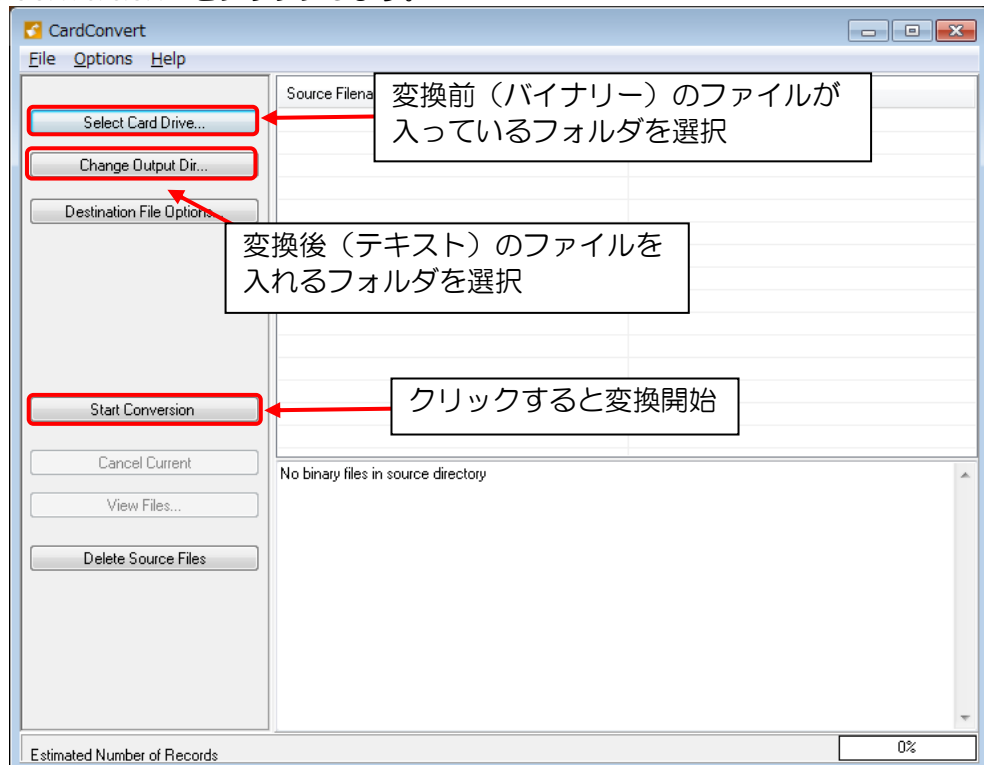
CF・MicroSD カードからのデータの取り出し

まず、使用するパソコンで PC400 を起動します(インストール方法等、詳細は前述の“PC400 のインストール”等を参照ください)。その後、取り外した CF カードまたは MicroSD カードをパソコンに接続し、ファイルができていることを確認します。ファイルがバイナリーファイルの場合、テキストファイルに変換する必要があります。

※ 本項以降で解説する“データの取り出し”、“分割出力”、“ファイル名の変更”および“データ変換できない場合”の作業では本ソフトウェアを用いて行います。

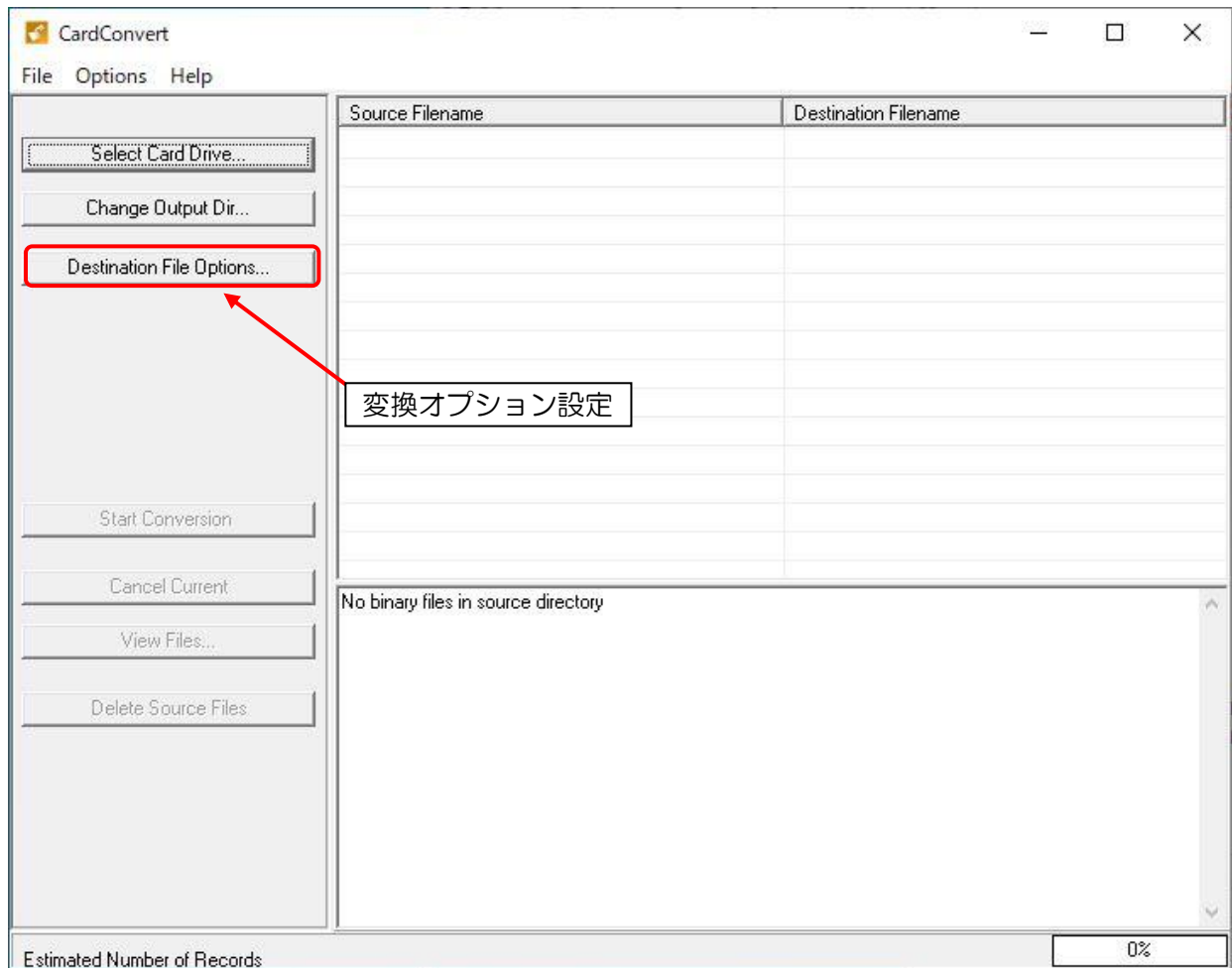


ここで、“Select Card Drive” で CF カードもしくは MicroSD カードの入れたドライブ名、“Change Output Dir” で変換後のファイルが入るドライブ名(またはフォルダ名)を選択します。選択後、“Start Conversion” をクリックします。



変換データの分割出力

CF カードもしくは MicroSD カードのデータを変換すると、変換データは 1 つのファイルとして出力されます。変換オプションを設定することで、データを時間で分割することが可能です。変換オプションは、データ変換する前に “Destination File Options...” をクリックします。



クリックすると次のようなウィンドウが表示されますので、“Use Time” と “TimeDate Filenames” にチェックをいれます。

Use Time・・・変換データを時間で分割するオプション

変換データの時刻を監視し、変換データを指定の時間毎のファイルに分割保存します。分割はインターバルで割り切れる時刻までを含みます。

例 1：50Hz データを 10 分毎に分割した場合

2008-12-11 15:40:00.02 ~ 2008-12-11 15:50:00.00

例 2：1 分データを日毎に分割した場合

2008-12-11 00:01:00 ~ 2008-12-12 00:00:00

TimeDate Filenames・・・変換データファイルにタイムスタンプを付加するオプション

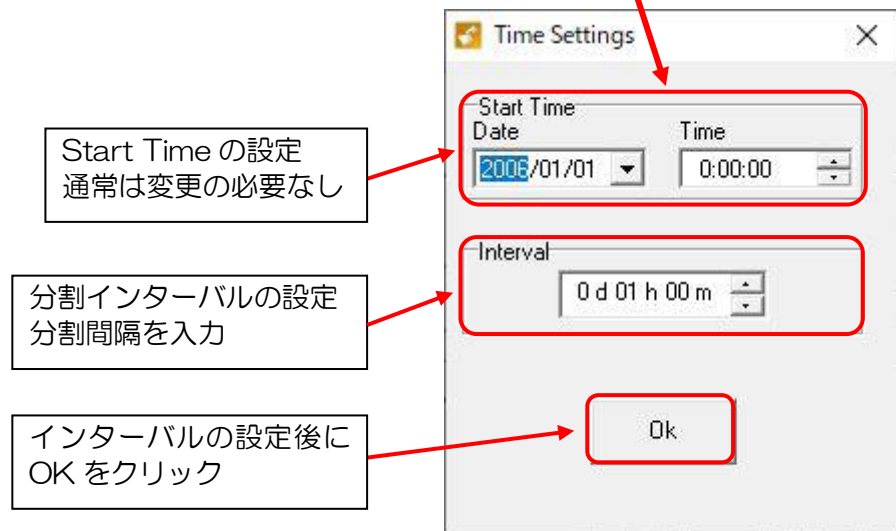
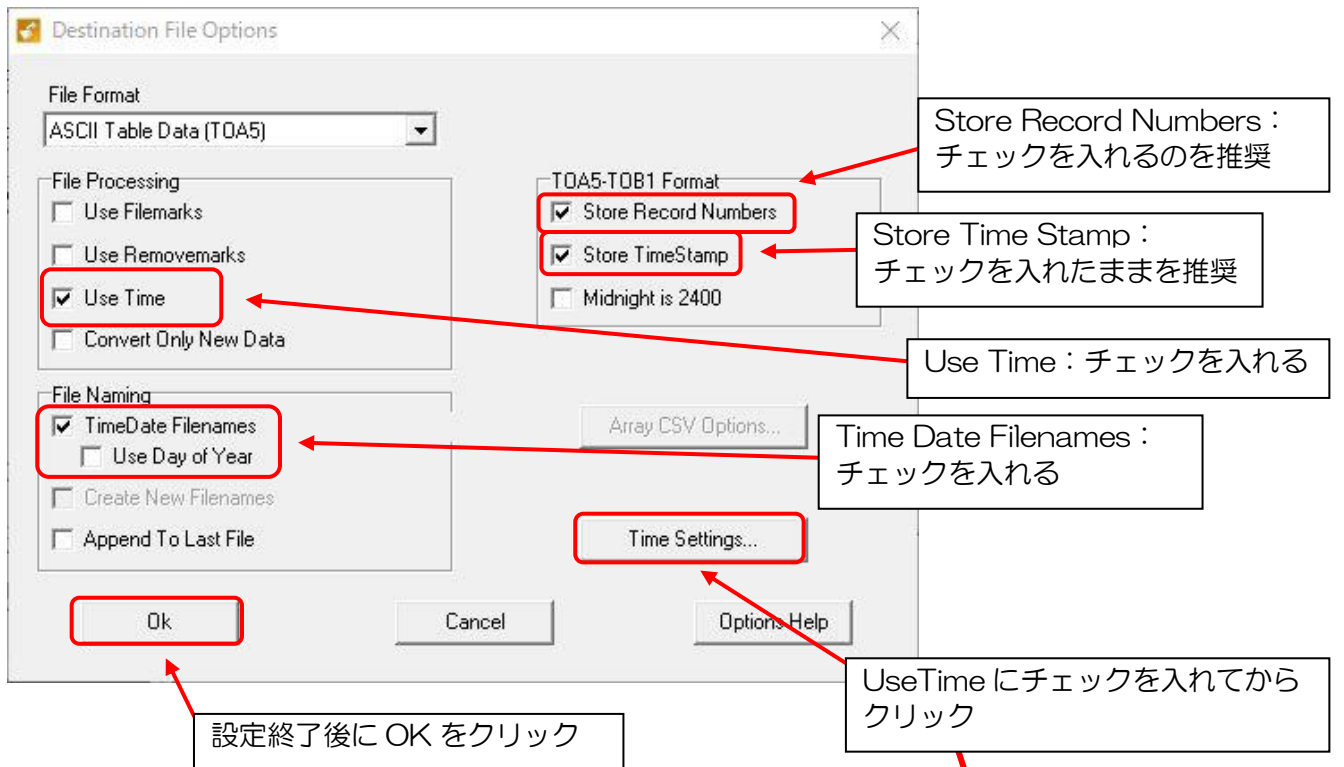
データファイル内の先頭データの時刻が付加されます。

例：2009 年 01 月 23 日 09 時 45 分 59 秒の場合のファイル名

↓

TOA5_ステーション名.元ファイル名_2009_01_23_0945.dat

“Use Time” にチェックを入れると、“Time Setting” が押せるようになります。
 “Time Setting” をクリックして、分割インターバルの設定ウィンドウを開きます。
 分割インターバルは、1分から日単位の指定が可能です。“Start Time” の項目は特に変更の必要は有りません。



分割インターバルの設定例：

分割インターバル	Interval の設定
10 分	0d00h10m
30 分	0d00h30m
1 時間	0d01h00m
1 日	1d00h00m

※ “CardConvert” を終了しても設定は保持されます。
 分割が必要でない場合には“DestinationFileOptions”内の“Use Time”のチェックを外して下さい。

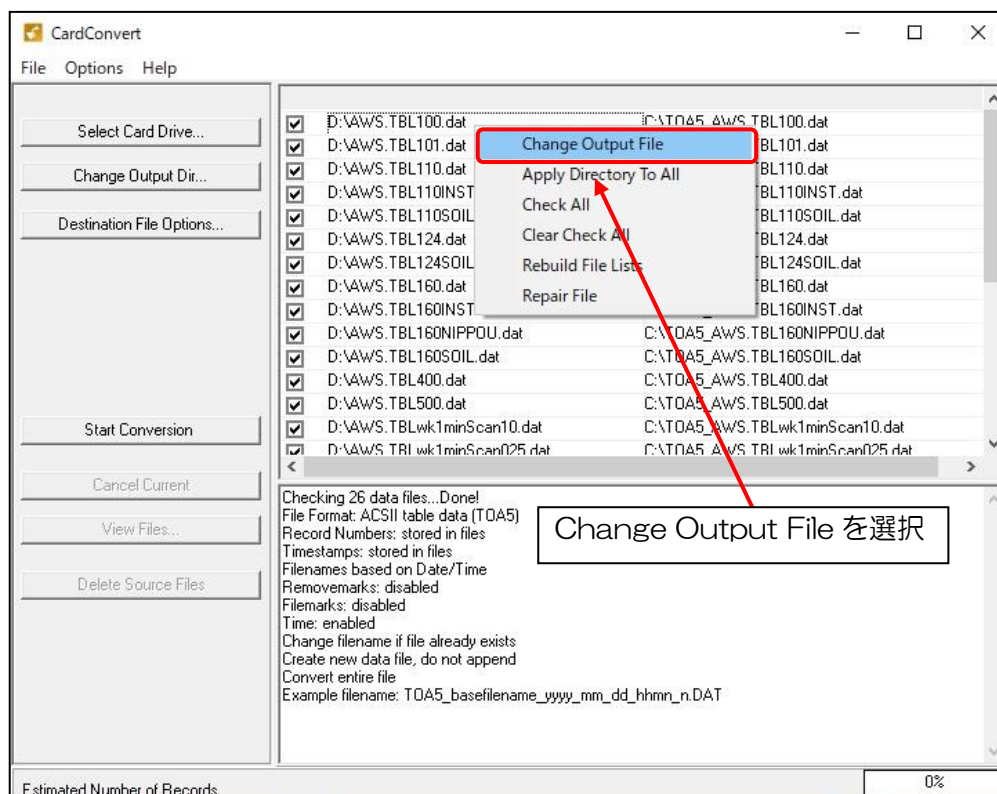
変換データのファイル名の変更

標準設定ですと変換後のファイル名は下記のようになります。

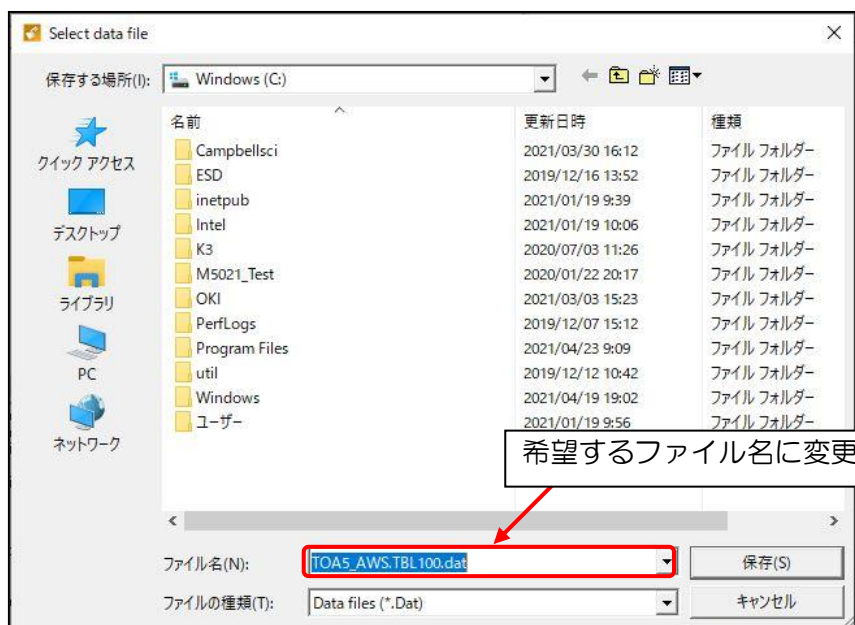
例：2009年01月23日09時45分59秒の場合のファイル名

↓
TOA5_ステーション名.元ファイル名_2009_01_23_0945.dat

変換後のファイル名を変更したい場合は変更したいファイルを右クリックしメニューを開きます。一番上の“Change Output File”をクリックすると、ファイル名変更のウィンドウが開きますので、希望のファイル名を入力します。拡張子の変更も可能です。



変換データファイルの保存先指定のウィンドウ



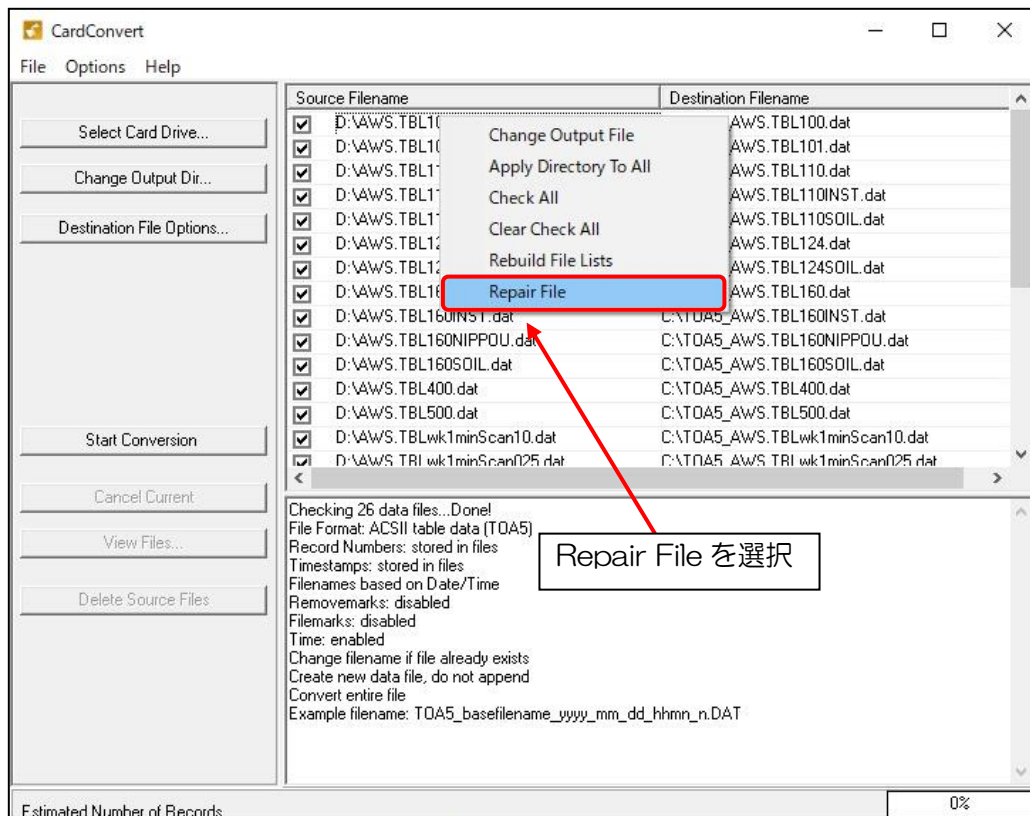
CF・MicroSD カードからデータ変換出来ない場合の手順

LED ランプ点灯中に CF カードまたは MicroSD カードを抜いたり、書き込み中にデータロガーの電源が切れたりすると、バイナリデータの取り出しが出来ない場合があります。

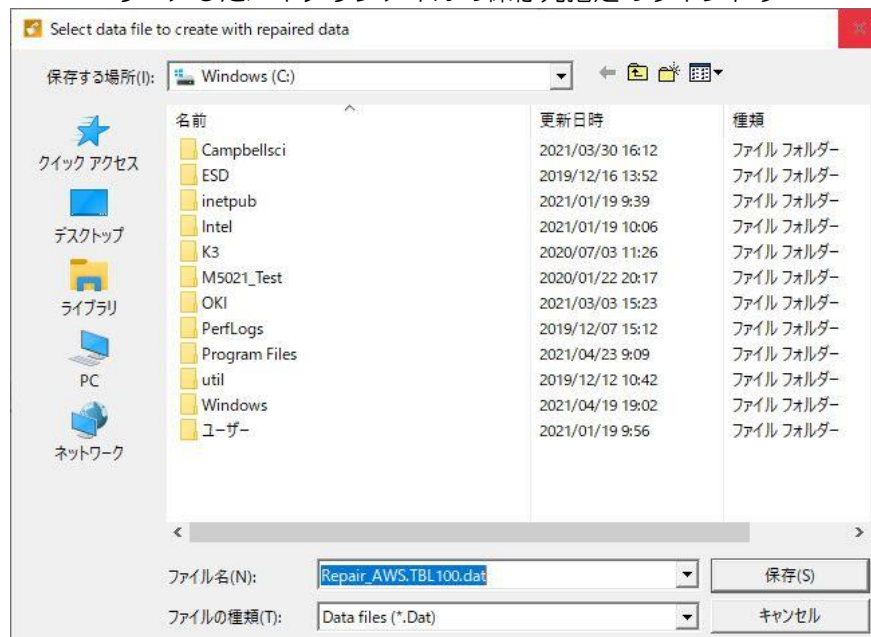
この場合、リペアオプションを使うことでデータの取り出しが可能になる場合があります。

データ取り出しが出来ないファイルを右クリックし、メニューを出します。

メニューの一番下の“Repair File”をクリックするとリペアしたファイルの保存先を聞いてきますので、任意のフォルダに保存して下さい。



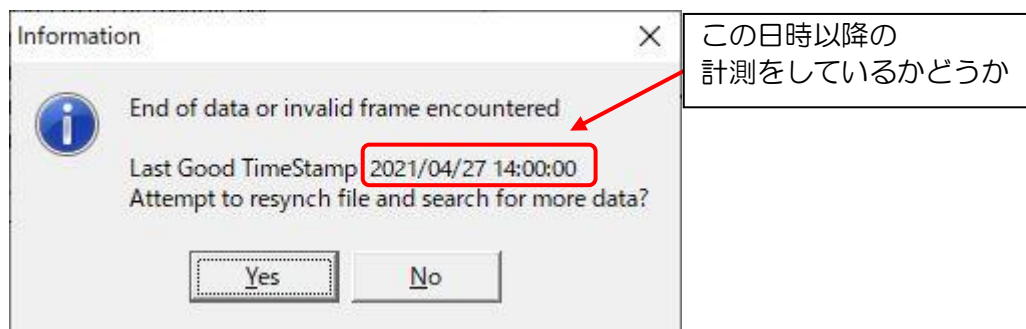
リペアしたバイナリファイルの保存先指定のウィンドウ



保存先を指定すると自動的に変換が始まります。

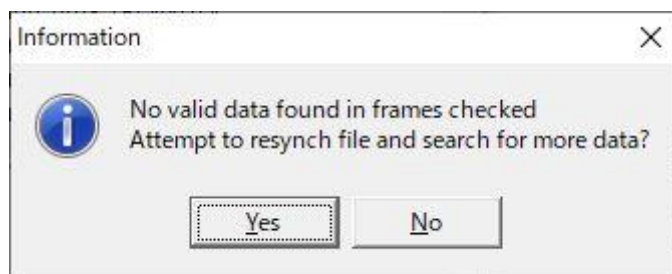
変換が進むと確認のウィンドウ内にバイナリデータ内の最後の正常なデータの日時が表示されますので、この日時以降に計測していなければ“N o”を、この日時以降にも計測しているようであれば“Y e s”をクリックして下さい。

“N o”であればリペア終了です。“Y e s”であればリペアを続行します。



データがまったく入っていないと思われる領域のリペアの処理をしようとする、リペアを続行するかどうかの確認のウィンドウが表示されます。

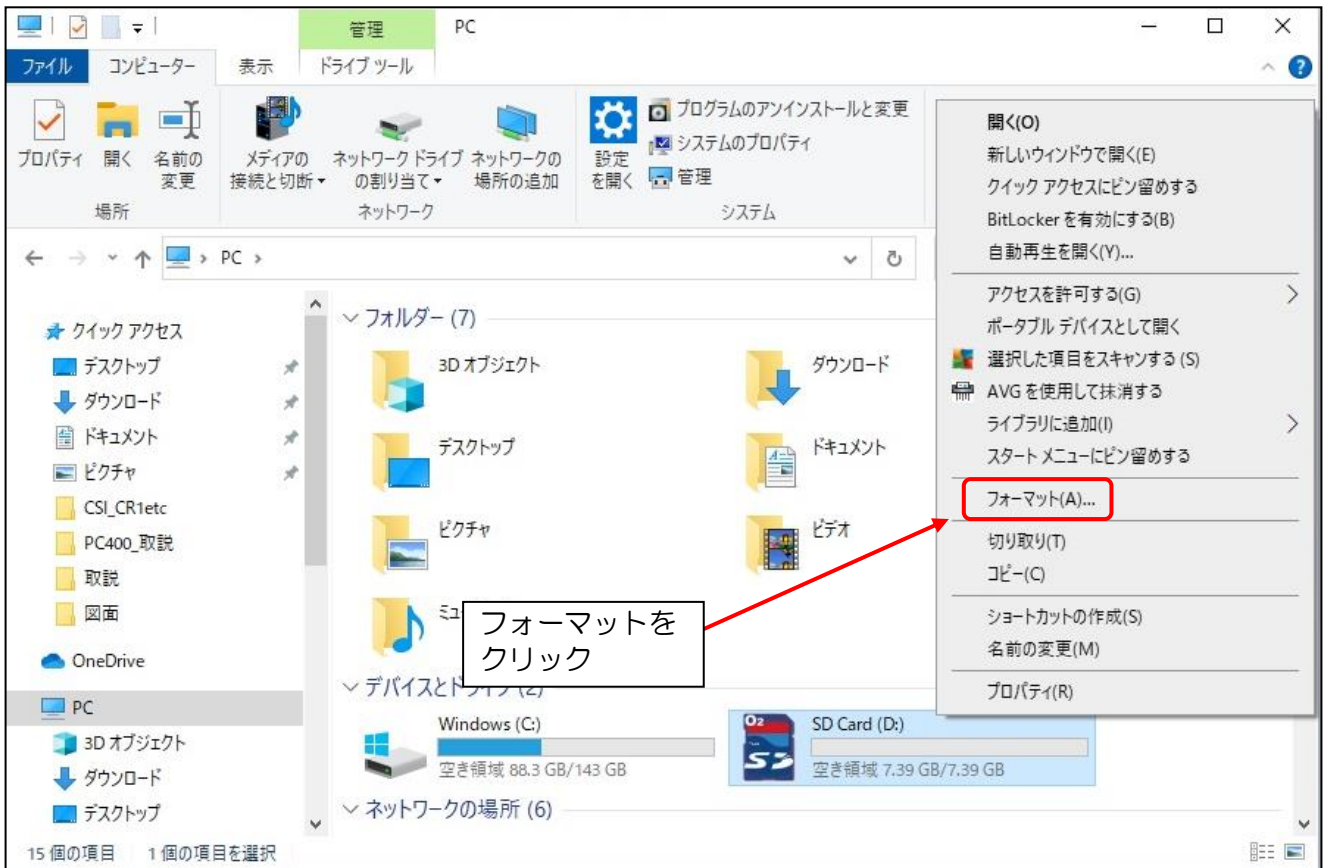
“N o”であればリペア終了です。“Y e s”であればリペアを続行します。



※リペアされたファイルはバイナリファイルなので、テキストファイルへの変換の作業が必要です。
変換作業は前述の“CF カード・MicroSD カードからのデータの取り出し”を参照下さい。

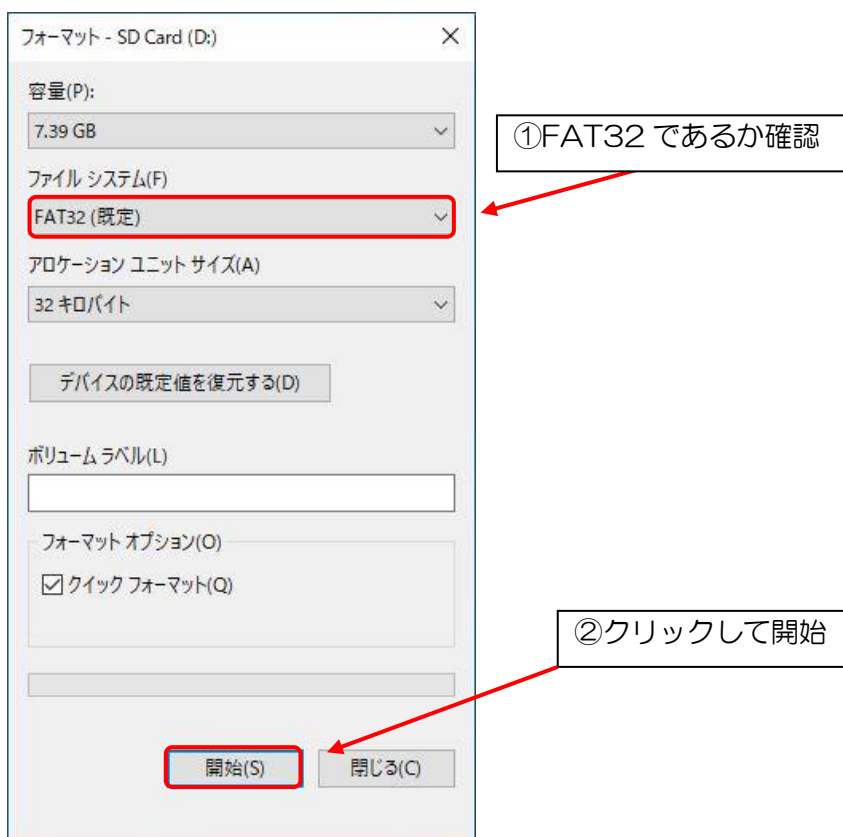
CF・MicroSD カードの再利用

データを取り出した後の CF カードもしくは MicroSD カードは、右クリックによって出てくるプルダウンメニューからフォーマットしてください。なお、フォーマットにより記録されたデータは完全に消去されるので、あらかじめバックアップしておくことをおすすめします。



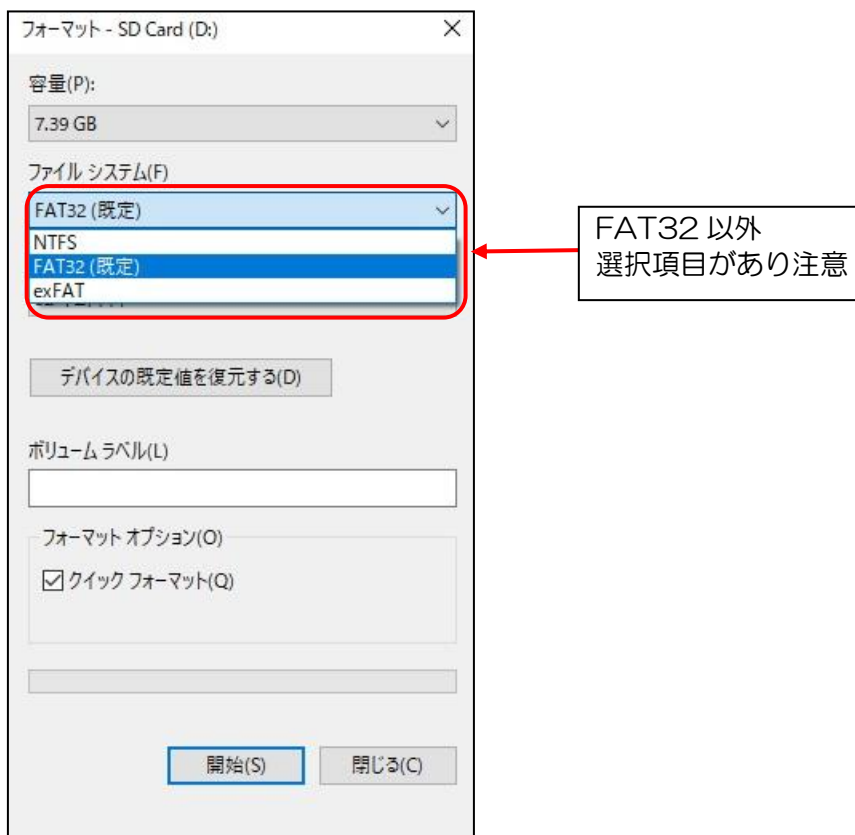
※上記図では SD Card と記載されていますが、CF カードの場合は CF Card と表示されます。

フォーマットをクリックすると、下記のウィンドウが開きます。開始する前に、ファイルシステムが **FAT32** であるかを確認してください。通常は、FAT32 が表示されているため変える必要はありません。確認後、**開始**をクリックするとフォーマットが開始されます。



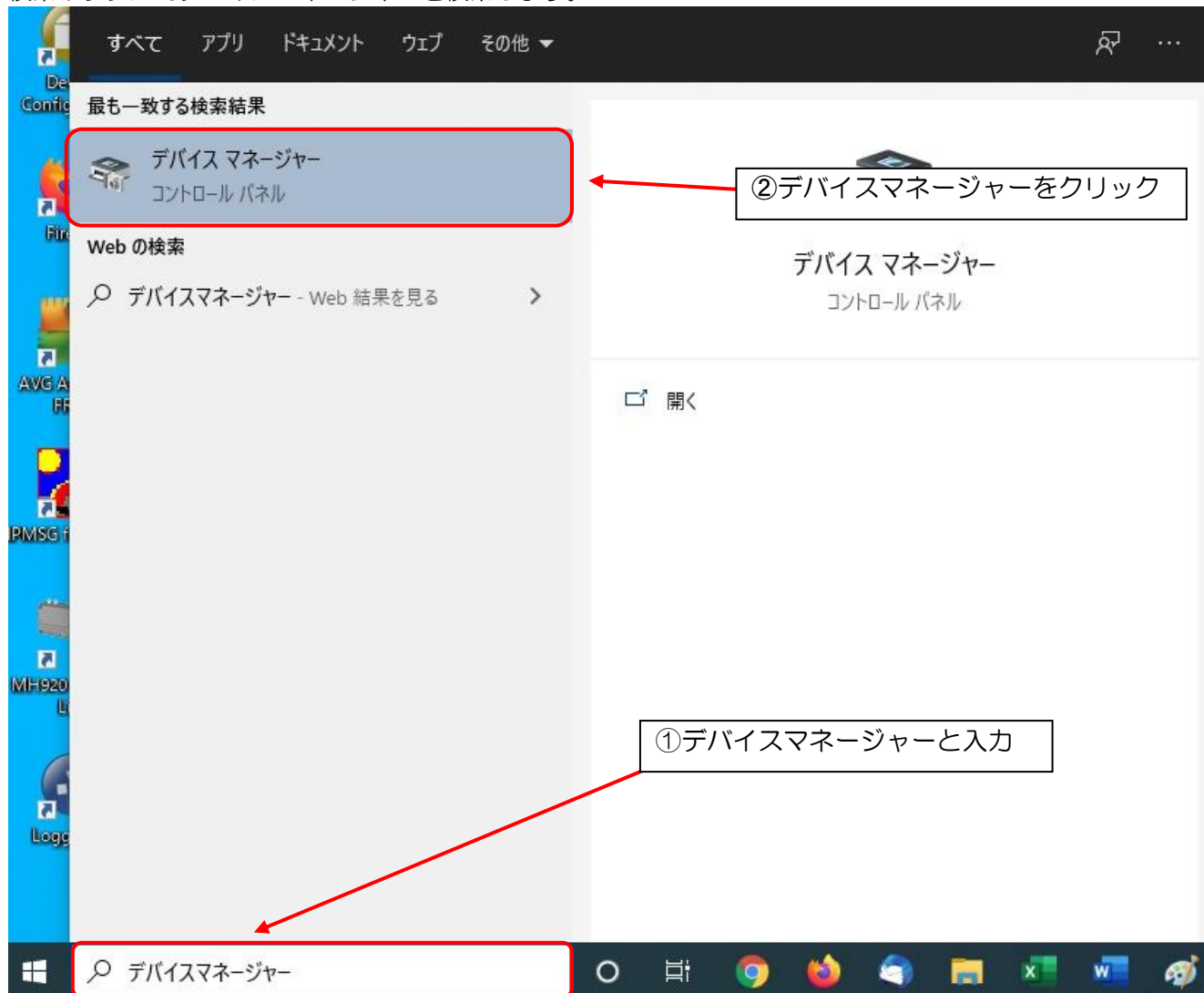
※上記図では SD Card と記載されていますが、CF カードの場合は CF Card と表示されます。

ファイルシステムには、FAT32 以外に選択項目があります。

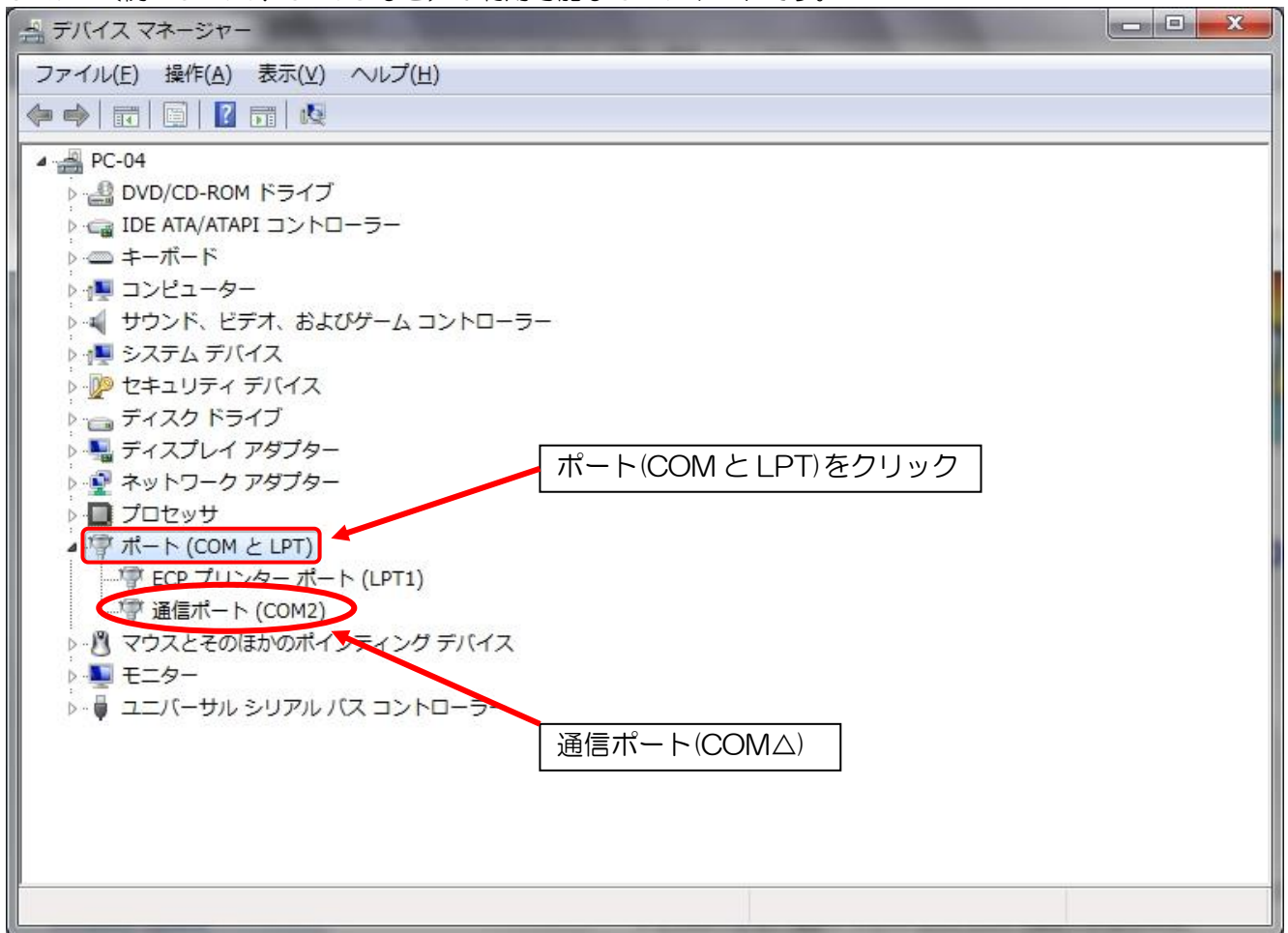


お使いの PC の COM ポート確認方法

検索ボックスでデバイスマネージャーを検索します。



ポート(COMとLPT)をクリックし、通信ポート(COM△)を表示させます。
COM△(例:COM1、COM3など)が利用可能なCOMポートです。



※CR300/310, CR6,CR1000X の場合は、データロガーと接続しているときのみ、上記画面に表示されます。